

藤崎町の子育て支援のための
アンケート調査結果報告書

令和6年3月

藤 崎 町

目次

I	調査の概要	1
II	本調査報告書の基本的な事項	1
III	就学前児童の調査結果	2
	1. 居住地区について	2
	2. 家族の状況について	2
	3. 保護者の就労状況について	4
	4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	9
	5. 地域の子育て支援事業の利用状況について	12
	6. 病気の際の対応について	17
	7. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	21
	8. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	26
	9. 児童虐待について	31
	10. 健康状況について	33
	11. 子どもとの関係について	35
IV	小学生の調査結果	39
	1. 居住地区について	39
	2. 家族の状況について	39
	3. 保護者の就労状況について	40
	4. 地域の子育て支援事業の認知状況や利用状況について	45
	5. 宿泊を伴う預け先の状況について	47
	6. 病気の際の対応について	49
	7. 放課後の過ごし方について	53
	8. 児童虐待について	58
	9. 健康状況について	60
	10. 子どもとの関係について	62
	11. 子どもへの支援について	65
	12. 不登校児童生徒の支援に対する国の方針について	68
	13. 子育てに関する相談窓口や制度の利用について	69

I 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、「第3期藤崎町子ども・子育て支援事業計画」（令和7～令和11年度）策定のための基礎資料として、対象となるお子さんの保護者の就労状況、サービス利用の実態、子育てに関する意識・意見を把握することを目的に実施したものである。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	就学前児童	就学児童
調査対象	町内の就学前児童のいる世帯	町内の小学生のいる世帯
配布数	519	538
抽出法	無作為抽出	無作為抽出
調査方法	郵送法（Web併用）	郵送法（Web併用）
調査時期	令和6年3月8日～3月27日	令和6年3月8日～3月27日
調査地域	藤崎町全域	藤崎町全域

(3) 配布数及び回収結果

配布数	519	538
有効回収数	371	342
有効回収率	71.5%	63.6%

II 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

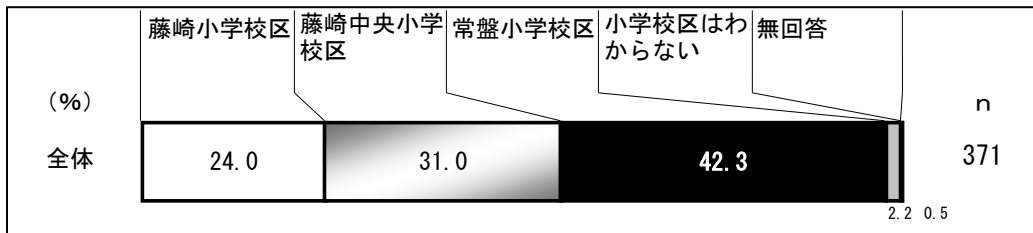
- ① 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。
- ② 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出している。
- ③ 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い問であり、従って各回答の合計比率は100%を超える場合がある。

Ⅲ 就学前児童の調査結果

1. 居住地区について

問1 お住まいの地区はどちらですか。(1つに○)

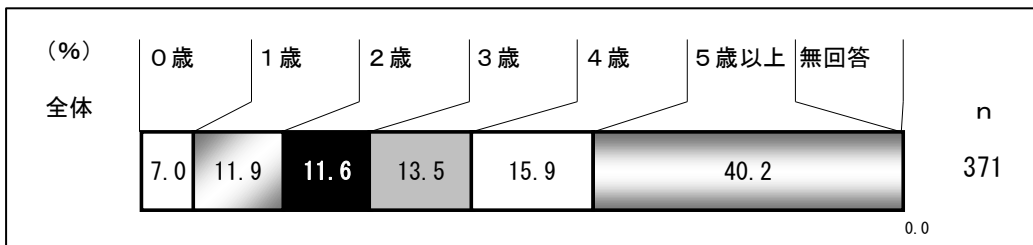
「常盤小学校区」(42.3%)、「藤崎中央小学校区」(31.0%)、「藤崎小学校区」(24.0%)となっている。なお、「小学校区がわからない」は2.2%であった。



2. 家族の状況について

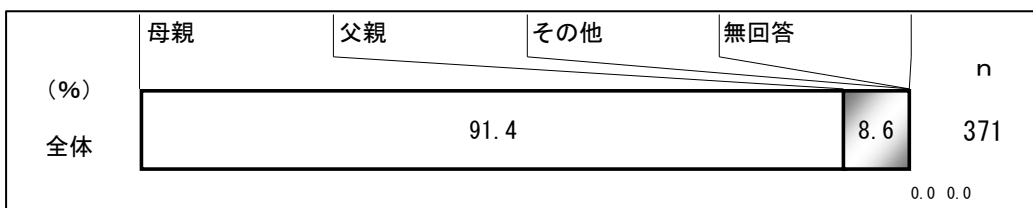
問2 宛名のお子さんの年齢はおいくつですか(令和6年2月1日時点)。(1つに○)

子どもの年齢は、「5歳以上」(40.2%)、「4歳」(15.9%)、「3歳」(13.5%)、「1歳」(11.9%)、「2歳」(11.6%)、「0歳」(7.0%)となっている。



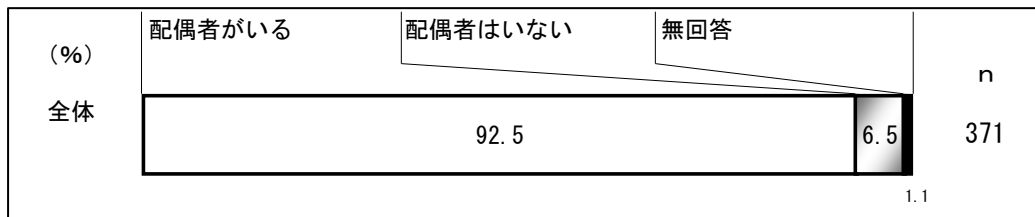
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

「母親」が91.4%、一方、「父親」が8.6%となっている。



問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶者の有無についてお答えください。(1つに○)

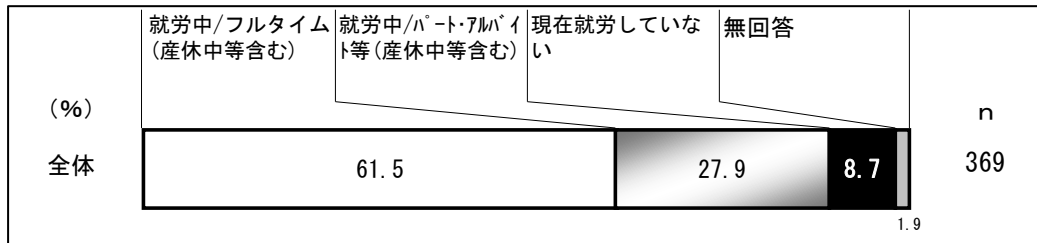
「配偶者がいる」が92.5%、一方、「配偶者はいない」が6.5%となっている。



3. 保護者の就労状況について

問5 宛名のお子さんの「母親」の現在の就労状況（自営業、農業、家族従事者含む）についてお答えください。（1つに○）

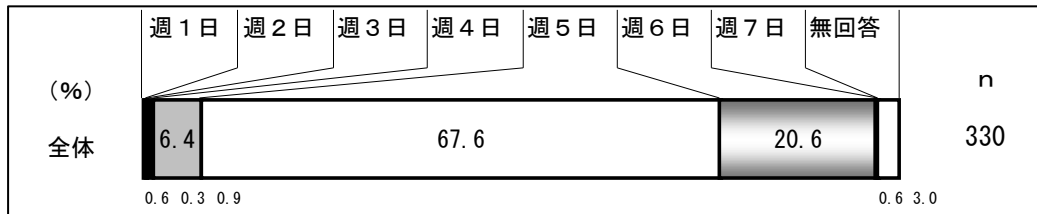
「就労中／フルタイム（産休中等含む）」（61.5%）が最も多く、以下、「就労中／パート・アルバイト等（産休中等含む）」（27.9%）、「現在就労していない」（8.7%）となっている。



問5-1 問5で「1」または「2」に○をつけた方（お勤めの方）に伺います。休業中の方は、休業以前の状況についてお答えください。現在の、1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

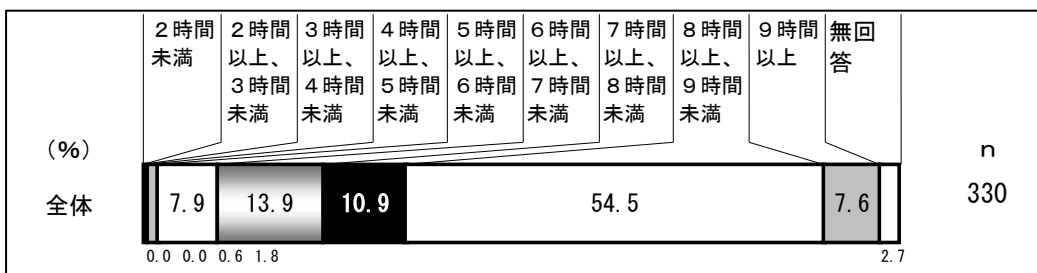
問5-1-1 母親：1週当たり就労日数

「週5日」（67.6%）が最も多く、以下、「週6日」（20.6%）、「週4日」（6.4%）、「週3日」（0.9%）、「週1日」・「週7日」（同率0.6%）、「週2日」（0.3%）となっている。



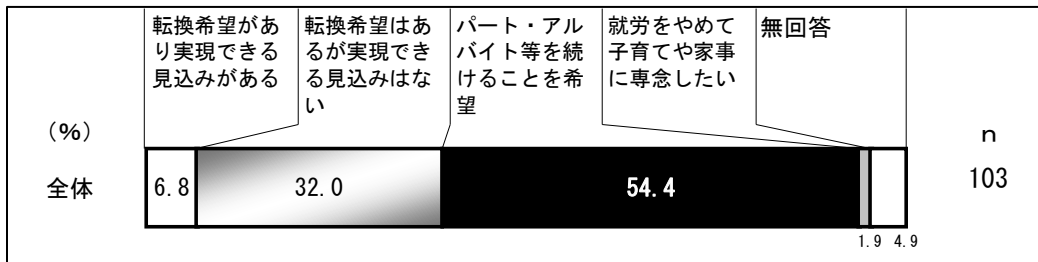
問5-1-2 母親：1日当たり就労時間

「8時間以上、9時間未満」（54.5%）が最も多く、以下、「6時間以上、7時間未満」（13.9%）、「7時間以上、8時間未満」（10.9%）、「9時間以上」（7.6%）、「4時間以上、5時間未満」（1.8%）、「3時間以上、4時間未満」（0.6%）となっている。



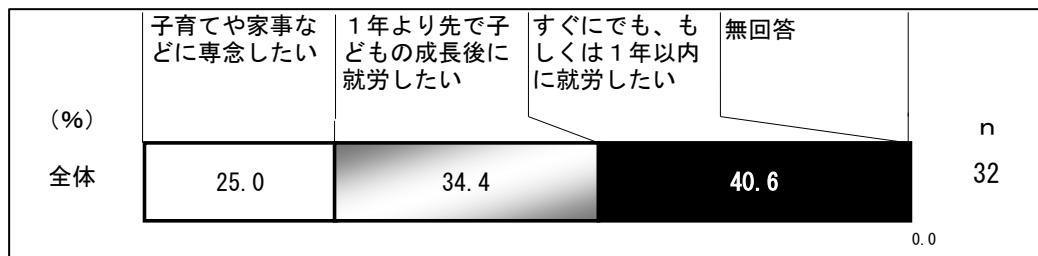
問 5-2 問5で「2」に○をつけた方（お勤めの方のうち、パート・アルバイト等の方）に伺います。母親のフルタイム（1週5日程度、1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。（1つに○）

「パート・アルバイト等を続けることを希望」（54.4%）が最も多く、以下、「転換希望はあるが実現できる見込みはない」（32.0%）、「転換希望があり実現できる見込みがある」（6.8%）、「就労をやめて子育てや家事に専念したい」（1.9%）となっている。



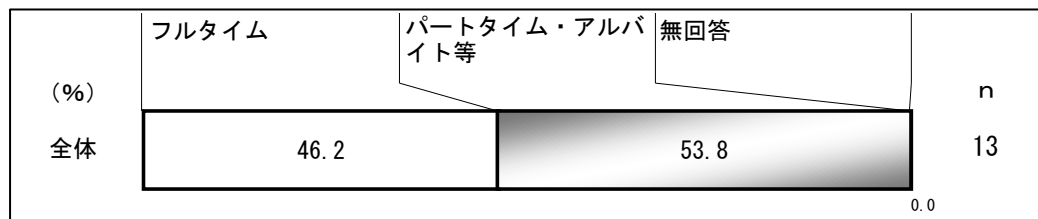
問 5-3 問5で「3」に○をつけた方（就労していない方）に伺います。就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（40.6%）が最も多く、以下、「1年より先、子どもの成長後に就労したい」（34.4%）、「子育てや家事などに専念したい」（25.0%）となっている。



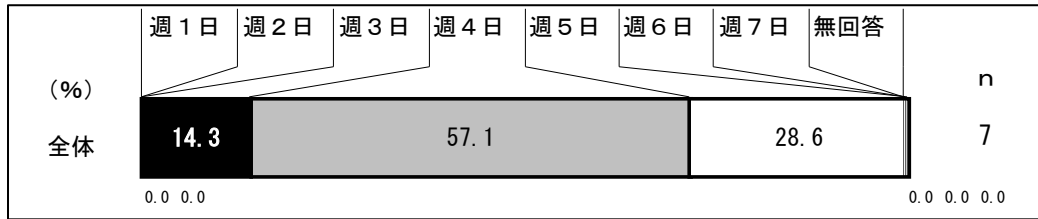
問 5-3-1 母親：就労希望の形態

パートタイム、アルバイトが（53.8%）、フルタイム（46.2%）となっている。



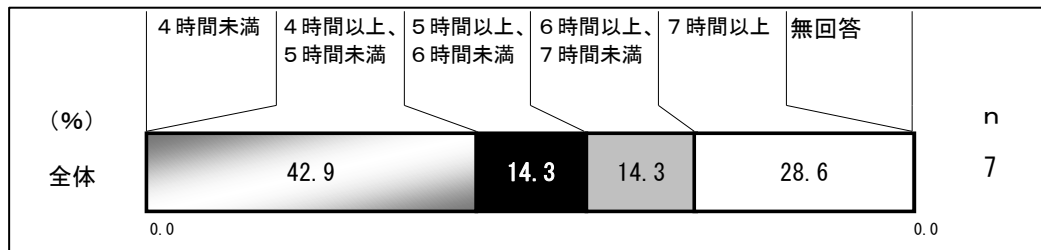
問 5-3-1-1 母親：希望就労日数/週

「週 4 日」(57.1%) が最も多く、以下、「週 5 日」(28.6%)、「週 3 日」(14.3%) となっている。



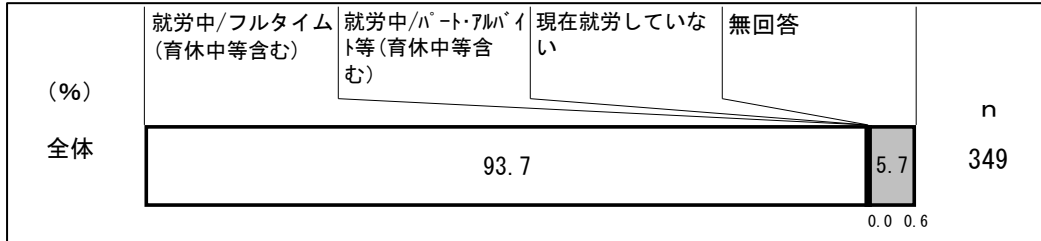
問 5-3-1-2 母親：希望就労時間/日

「4 時間以上、5 時間未満」(42.9%) が最も多く、以下、「7 時間以上」(28.6%)、「5 時間以上、6 時間未満」・「6 時間以上、7 時間未満」(同率 14.3%) となっている。



問6 宛名のお子さんの「父親」の現在の就労状況（自営業、農業、家族従事者含む）についてお答えください。（1つに○）

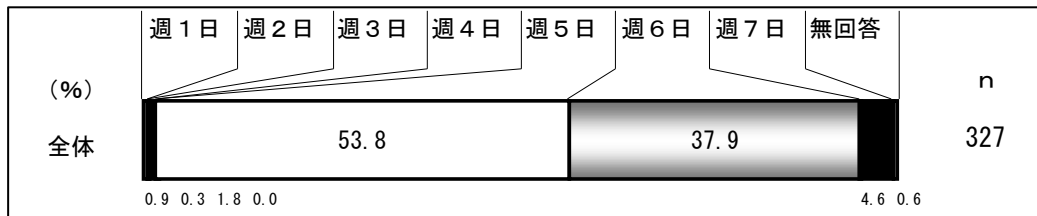
「就労中/フルタイム(育休中等含む)」(93.7%)、「現在就労していない」(0.6%)となっている。



問6-1 問6で「1」または「2」に○をつけた方（お勤めの方）に伺います。休業中の方は、休業以前の状況についてお答えください。現在の、1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

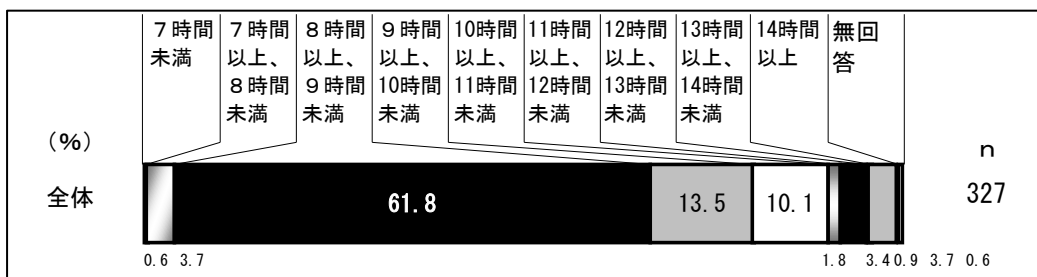
問6-1-1 父親：1週当たり就労日数

「週5日」(53.8%)が最も多く、以下、「週6日」(37.9%)、「週7日」(4.6%)、「週3日」(1.8%)、「週1日」(0.9%)、「週2日」(0.3%)となっている。



問6-1-2 父親：1日当たり就労時間

「8時間以上、9時間未満」(61.8%)が最も多く、以下、「9時間以上、10時間未満」(13.5%)、「10時間以上、11時間未満」(10.1%)、「7時間以上、8時間未満」・「14時間以上」(同率3.7%)、「12時間以上、13時間未満」(3.4%)、「11時間以上、12時間未満」(1.8%)、「13時間以上、14時間未満」(0.9%)、「7時間未満」(0.6%)となっている。

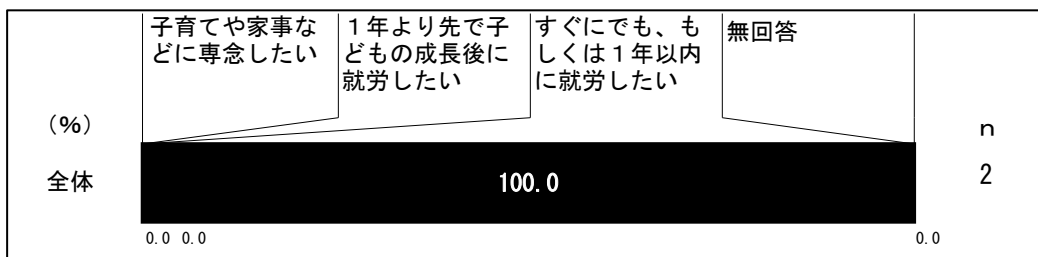


問 6-2 問6で「2」に○をつけた方（お勤めの方のうち、パート・アルバイト等の方）に伺います。フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。（1つに○）

※該当者なし

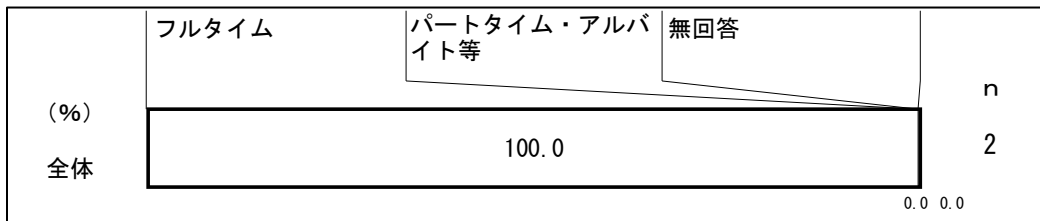
問 6-3 問6で「3」に○をつけた方（就労していない方）に伺います。就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が100.0%となっている。



問 6-3-1 父親:就労希望の形態

フルタイムが100.0%となっている。



問 6-3-1-1 父親:希望就労日数/週

※該当者なし

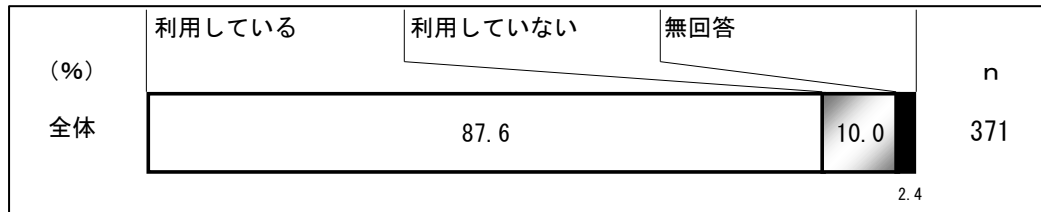
問 6-3-1-2 父親:希望就労時間/日

※該当者なし

4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

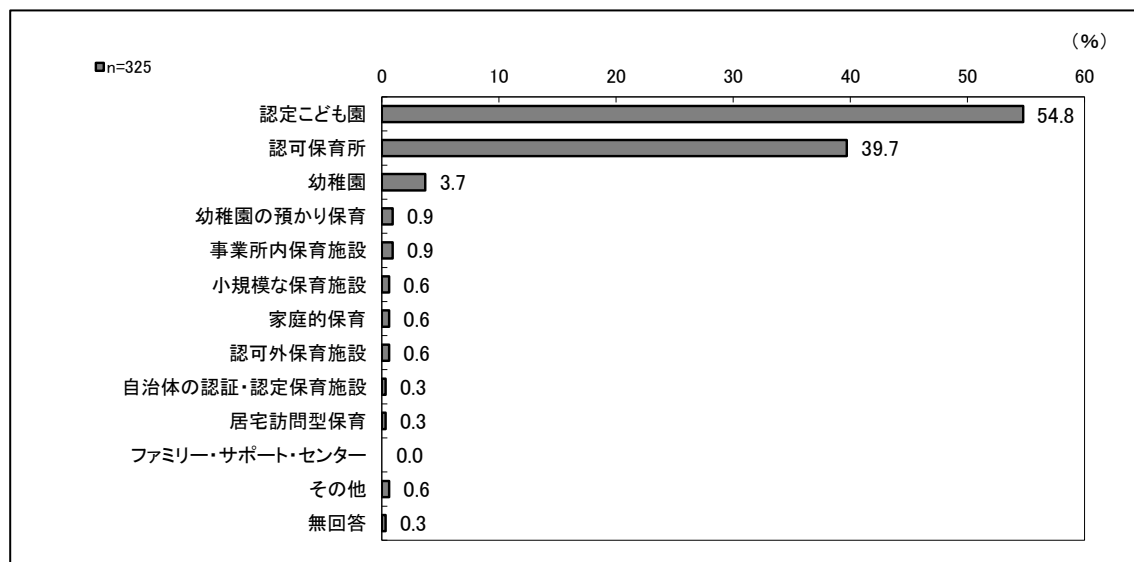
問7 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(1つに○)

「利用している」が87.6%、一方、「利用していない」が10.0%となっている。



問7-1 問7で「1. 利用している」に○をつけた方に伺います。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

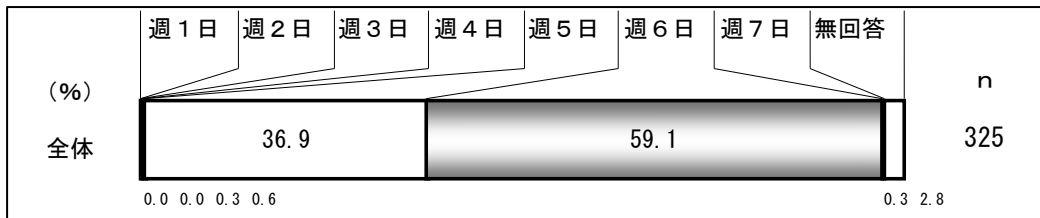
「認定こども園」(54.8%)が第1位、次いで、「認可保育所」(39.7%)、「幼稚園」(3.7%)、「幼稚園の預かり保育」・「事業所内保育施設」(同率0.9%)、「小規模な保育施設」・「家庭的保育」・「認可外保育施設」(同率0.6%)、「自治体の認証・認定保育施設」・「居宅訪問型保育」(同率0.3%)となっている。



問 7-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください。

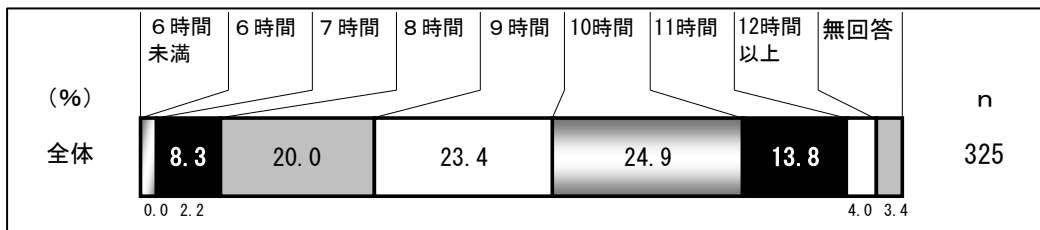
問 7-2-1 希望の利用日数／週

「週6日」(59.1%)、「週5日」(36.9%)、「週4日」(0.6%)、「週3日」・「週7日」(同率0.3%)となっている。



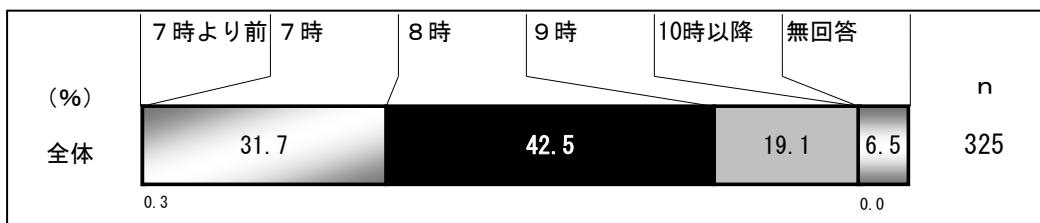
問 7-2-2 希望の利用時間／日

「10時間」(24.9%)、「9時間」(23.4%)、「8時間」(20.0%)、「11時間」(13.8%)、「7時間」(8.3%)、「12時間以上」(4.0%)、「6時間」(2.2%)となっている。



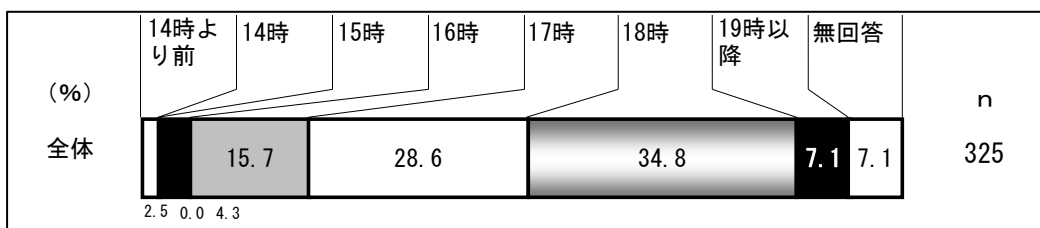
問 7-2-3 希望の開始時刻

「8時」(42.5%)、「7時」(31.7%)、「9時」(19.1%)、「7時より前」(0.3%)となっている。



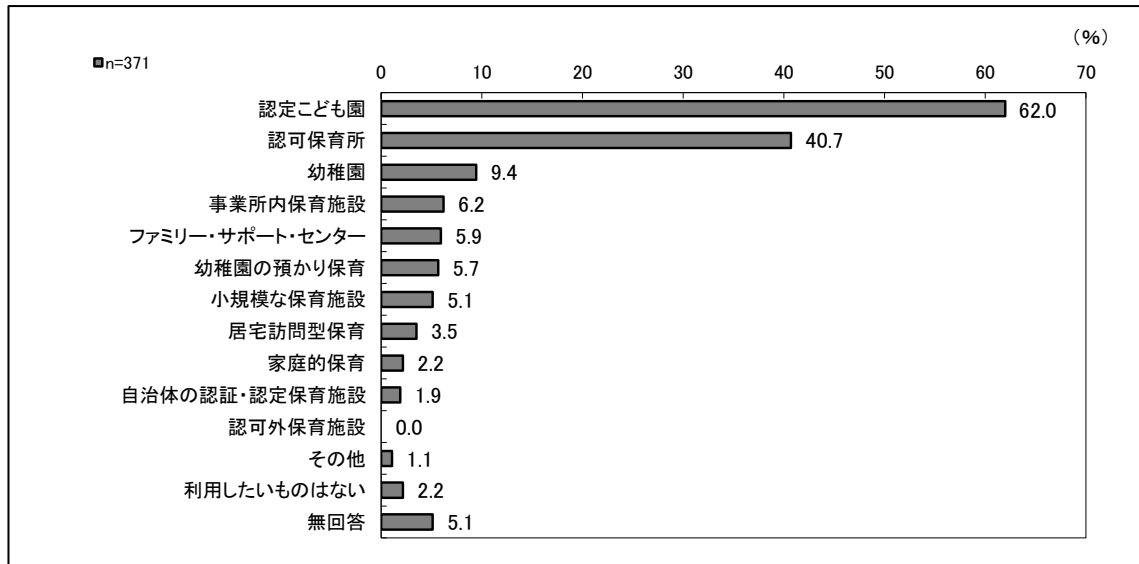
問 7-2-4 希望の終了時刻

「18時」(34.8%)、「17時」(28.6%)、「16時」(15.7%)、「19時以降」(7.1%)、「15時」(4.3%)、「14時より前」(2.5%)となっている。



問8 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「認定こども園」(62.0%)が第1位、次いで、「認可保育所」(40.7%)、「幼稚園」(9.4%)、「事業所内保育施設」(6.2%)、「ファミリー・サポート・センター」(5.9%)、「幼稚園の預かり保育」(5.7%)、「小規模な保育施設」(5.1%)、「居宅訪問型保育」(3.5%)、「家庭的保育」(2.2%)、「自治体の認証・認定保育施設」(1.9%)となっている。なお、「利用したいものはない」は2.2%であった。



問8-1 問8で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～12にも○をつけた方に伺います。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（1つに○）

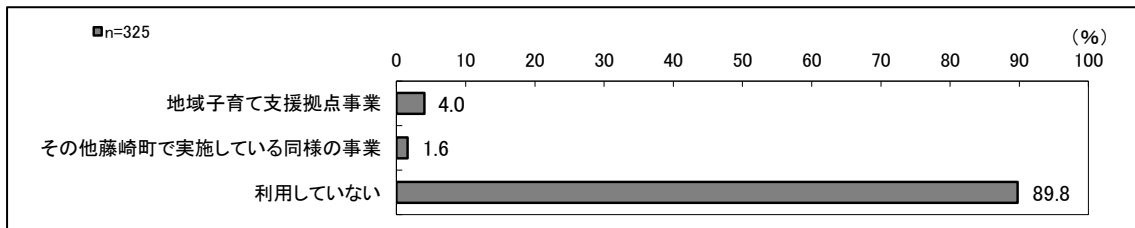
「はい」が39.5%、「いいえ」が28.9%となっている。

(%)	はい	いいえ	無回答	n
全体	39.5	28.9	31.6	38

5. 地域の子育て支援事業の利用状況について

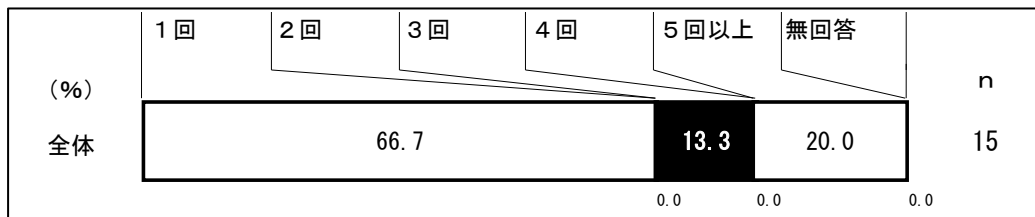
問9 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

「地域子育て支援拠点事業」（4.0%）、「その他藤崎町で実施している同様の事業」（1.6%）となっている。なお、「利用していない」は89.8%となっている。



問9-① 子育て支援センター事業の利用頻度：回/月

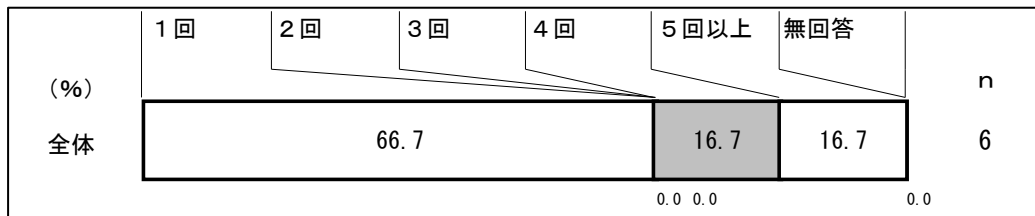
地域子育て支援事業のひと月当たりの利用回数は、「1回」（66.7%）が最も多く、以下、「5回以上」（20.0%）、「3回」（13.3%）となっている。



問9-② その他の事業の利用頻度：回/月

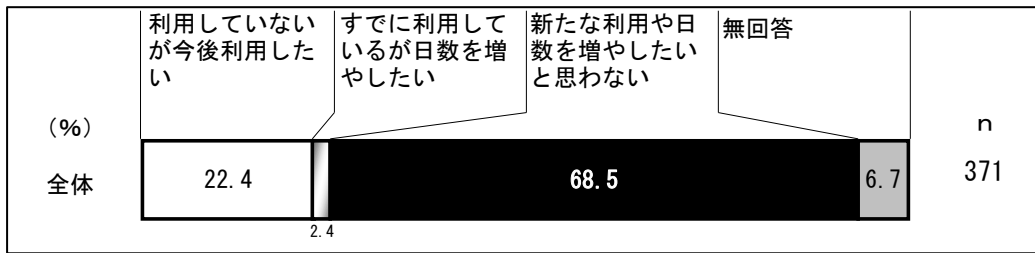
その他当該自治体で実施している類似の事業のひと月当たりの利用回数は、「1回」（66.7%）、「4回」・「5回以上」（同率16.7%）となっている。

また、具体的な事業名としては、「ヒロロ子育て広場」、「ひよこの集い」などがあげられた。



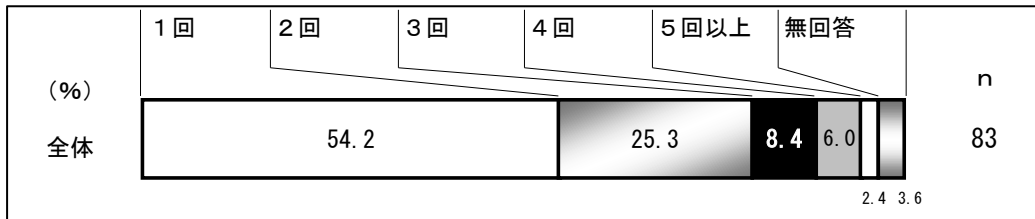
問 9-1 問9のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

「利用していないが今後利用したい」（22.4%）、「すでに利用しているが日数を増やしたい」（2.4%）となっている。なお、「新たな利用や日数を増やしたいとは思わない」は68.5%となっている。



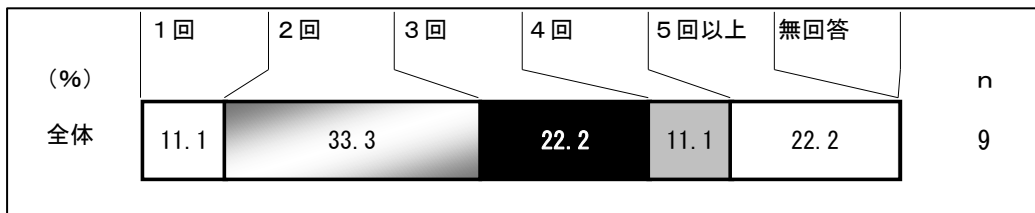
問 9-1-① 新たに利用したい希望利用頻度：回/月

新たに利用したい希望利用頻度は、「1回」（54.2%）が最も多く、以下、「2回」（25.3%）、「3回」（8.4%）、「4回」（6.0%）、「5回以上」（2.4%）となっている。



問 9-1-② 今後増やしたい希望利用頻度：回/月

今後増やしたい希望利用頻度は、「2回」（33.3%）、「3回」・「5回以上」（同率22.2%）、「1回」・「4回」（同率11.1%）となっている。



問 10 次の事業やサービス等で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑮の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「1. はい」「2. いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

・ A 知っているサービス

「はい」の率をみると、「⑨ 延長保育事業」(84.6%)、「⑪ 放課後児童健全育成事業」(80.9%)、「③ 妊婦健康診査」(76.5%)、「④ 乳児家庭全戸訪問事業」(71.2%)、「⑧ 一時預かり事業」(67.9%)、「⑩ 病児・病後児保育事業」(65.8%)などが高率となっている。

	(%)			n
	はい	いいえ	無回答	
① 利用者支援事業	15.4	76.5	8.1	371
② 地域子育て支援拠点事業	40.4	52.8	6.7	371
③ 妊婦健康診査	76.5	17.0	6.5	371
④ 乳児家庭全戸訪問事業	71.2	21.6	7.3	371
⑤ 養育支援訪問事業	14.3	78.2	7.5	371
⑥ 子育て短期支援事業	12.1	80.3	7.5	371
⑦ 子育て援助活動支援事業	23.7	68.5	7.8	371
⑧ 一時預かり事業	67.9	25.1	7.0	371
⑨ 延長保育事業	84.6	8.6	6.7	371
⑩ 病児・病後児保育事業	65.8	27.0	7.3	371
⑪ 放課後児童健全育成事業	80.9	12.4	6.7	371
⑫ 実費徴収にかかる補足給付を行う	16.4	76.0	7.5	371
⑬ 子育て世代包括支援センター事業	35.0	57.7	7.3	371
⑭ 子ども家庭総合支援事業	12.9	79.8	7.3	371
⑮ 障害児保育事業	21.0	71.4	7.5	371

・B これまで利用したことがあるサービス

「はい」の率をみると、「④ 乳児家庭全戸訪問事業」(64.4%)、「③ 妊婦健康診査」(64.2%)などが高率となっている。

(%)	はい	いいえ	無回答	n
① 利用者支援事業	84.4	11.3	4.3	371
② 地域子育て支援拠点事業	19.9	68.7	11.3	371
③ 妊婦健康診査	64.2	26.1	9.7	371
④ 乳児家庭全戸訪問事業	64.4	25.1	10.5	371
⑤ 養育支援訪問事業	86.0	11.9	2.2	371
⑥ 子育て短期支援事業	88.4	11.6	0.0	371
⑦ 子育て援助活動支援事業	85.4	12.1	2.4	371
⑧ 一時預かり事業	20.8	68.5	10.8	371
⑨ 延長保育事業	37.5	53.4	9.2	371
⑩ 病児・病後児保育事業	85.4	10.2	4.3	371
⑪ 放課後児童健全育成事業	21.0	69.0	10.0	371
⑫ 実費徴収にかかる補足給付を行う	84.6	11.3	4.0	371
⑬ 子育て世代包括支援センター事業	12.4	76.5	11.1	371
⑭ 子ども家庭総合支援事業	87.3	11.3	1.3	371
⑮ 障害児保育事業	88.1	11.3	0.5	371

・ C 今後利用したいサービス

「はい」の率をみると、「⑪ 放課後児童健全育成事業」(77.1%)、「⑨ 延長保育事業」(58.0%)、「⑩ 病児・病後児保育事業」(53.4%)などが高率となっている。

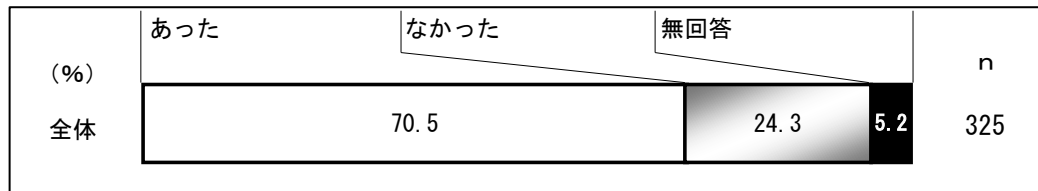
(%)	はい	いいえ	無回答	n
① 利用者支援事業	27.5	61.2	11.3	371
② 地域子育て支援拠点事業	37.7	51.2	11.1	371
③ 妊婦健康診査	46.6	42.9	10.5	371
④ 乳児家庭全戸訪問事業	39.4	49.1	11.6	371
⑤ 養育支援訪問事業	20.2	67.7	12.1	371
⑥ 子育て短期支援事業	20.8	67.9	11.3	371
⑦ 子育て援助活動支援事業	29.6	58.8	11.6	371
⑧ 一時預かり事業	45.3	43.7	11.1	371
⑨ 延長保育事業	58.0	32.3	9.7	371
⑩ 病児・病後児保育事業	53.4	36.9	9.7	371
⑪ 放課後児童健全育成事業	77.1	14.0	8.9	371
⑫ 実費徴収にかかる補給付を行う	36.1	53.1	10.8	371
⑬ 子育て世代包括支援センター事業	38.8	50.1	11.1	371
⑭ 子ども家庭総合支援事業	33.4	55.3	11.3	371
⑮ 障害児保育事業	18.1	69.5	12.4	371

6. 病気の際の対応について

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問7で「1. 利用している」に○をつけた方）に伺います。利用していない方は、問12にお進みください。

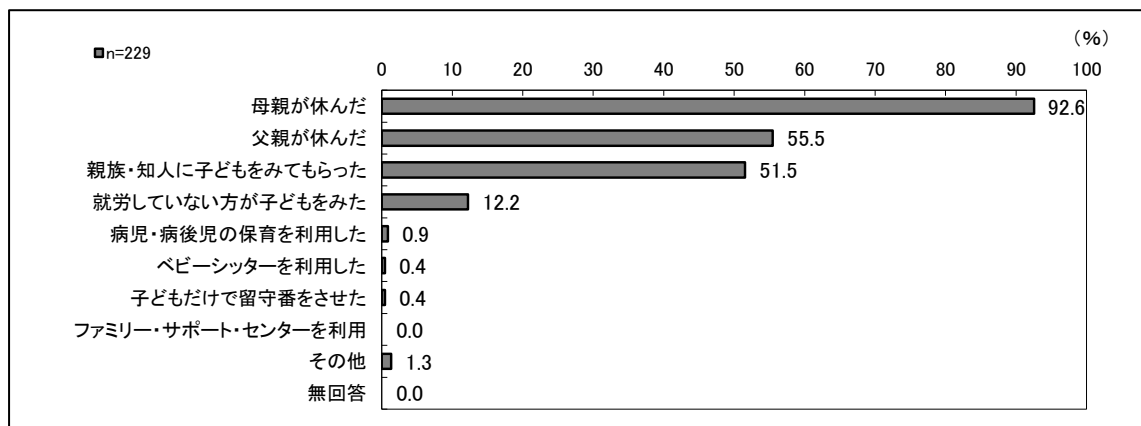
問11 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（1つに○）

「あった」が70.5%、一方、「なかった」が24.3%となっている。



問11-1 問11で「1. あった」と回答した方に伺います。宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

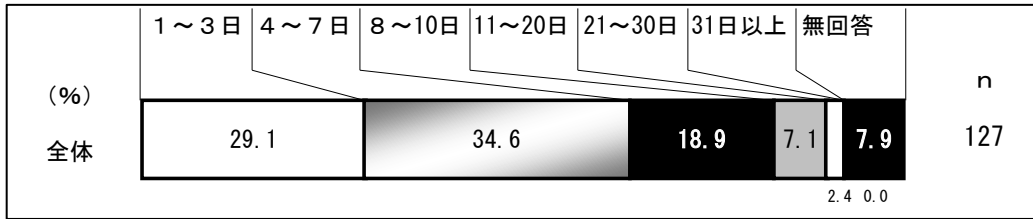
「母親が休んだ」(92.6%) が第1位、次いで、「父親が休んだ」(55.5%)、「親族・知人に子どもをみてもらった」(51.5%)、「就労していない方が子どもをみた」(12.2%)、「病児・病後児の保育を利用した」(0.9%)、「ベビーシッターを利用した」・「子どもだけで留守番をさせた」(同率0.4%)となっている。



日数については以下のとおりとなっている。

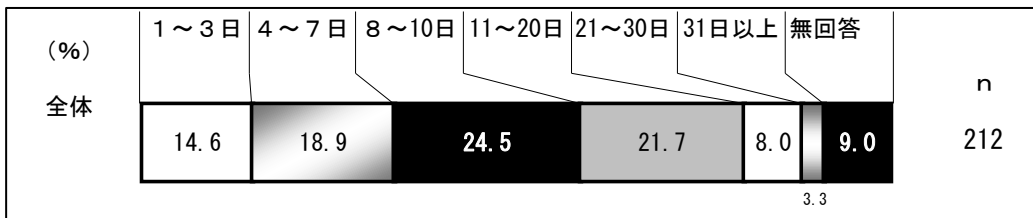
問 11-1 日数:1 父親が休んだ

「4～7日」(34.6%) が最も多く、以下、「1～3日」(29.1%)、「8～10日」(18.9%)、「11～20日」(7.1%)、「21～30日」(2.4%) となっている。



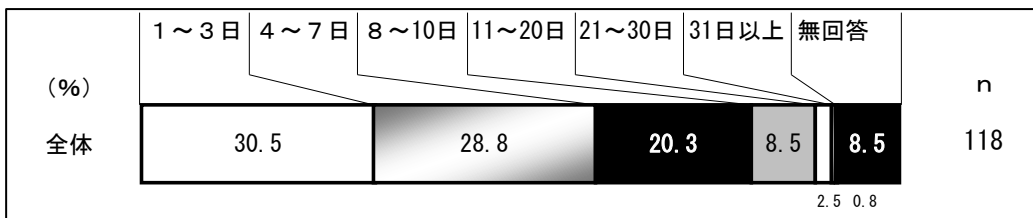
問 11-1 日数:2 母親が休んだ

「8～10日」(24.5%) が最も多く、以下、「11～20日」(21.7%)、「4～7日」(18.9%)、「1～3日」(14.6%)、「21～30日」(8.0%)、「31日以上」(3.3%) となっている。



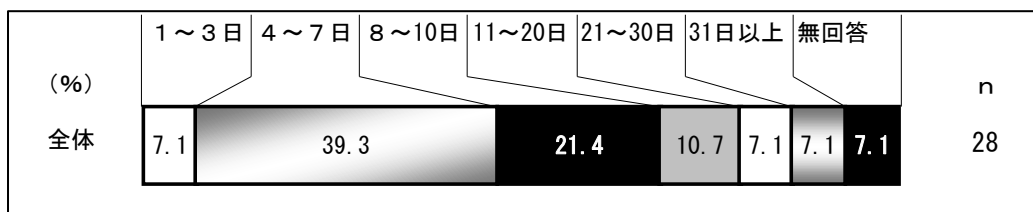
問 11-1 日数:3 親族・知人に子どもをみてもらった

「1～3日」(30.5%) が最も多く、以下、「4～7日」(28.8%)、「8～10日」(20.3%)、「11～20日」(8.5%)、「21～30日」(2.5%)、「31日以上」(0.8%) となっている。



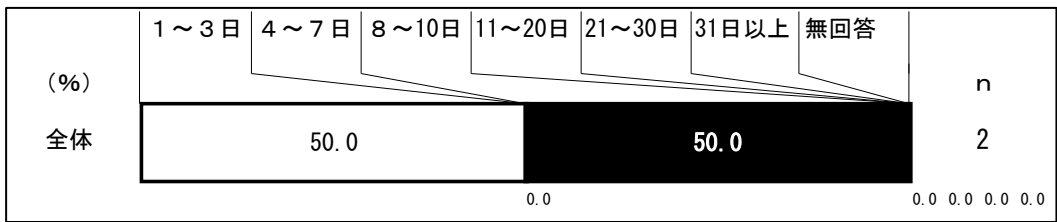
問 11-1 日数:4 就労していない方が子どもをみた

「4～7日」(39.3%) が最も多く、以下、「8～10日」(21.4%)、「11～20日」(10.7%)、「1～3日」・「21～30日」・「31日以上」(同率7.1%) となっている。



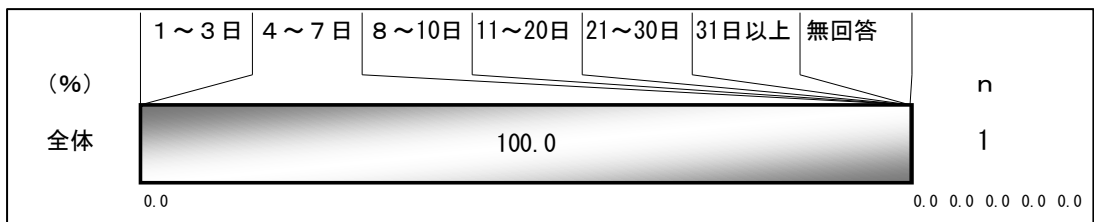
問 11-1 日数:5 病児・病後児の保育を利用した

「1～3日」・「8～10日」(同率 50.0%) となっている。



問 11-1 日数:6 ベビーシッターを利用した

「4～7日」(100.0%) となっている。

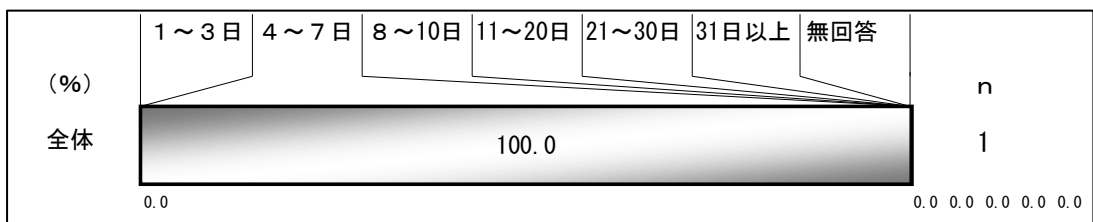


問 11-1 日数:7 ファミリー・サポート・センターを利用した

※該当なし

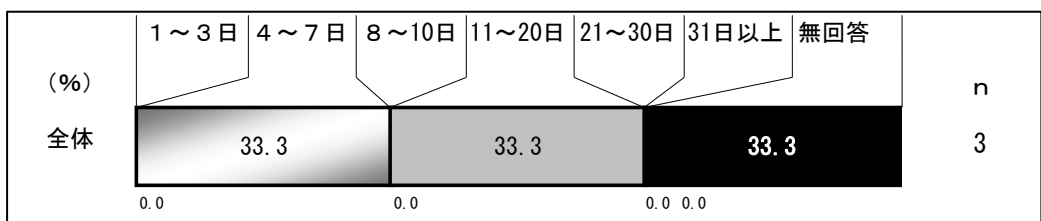
問 11-1 日数:8 子どもだけで留守番をさせた

「4～7日」(100.0%) となっている。



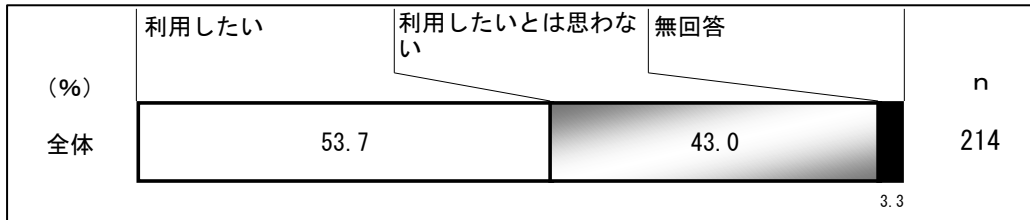
問 11-1 日数:9 その他

「4～7日」・「11～20日」(同率 33.3%) となっている。



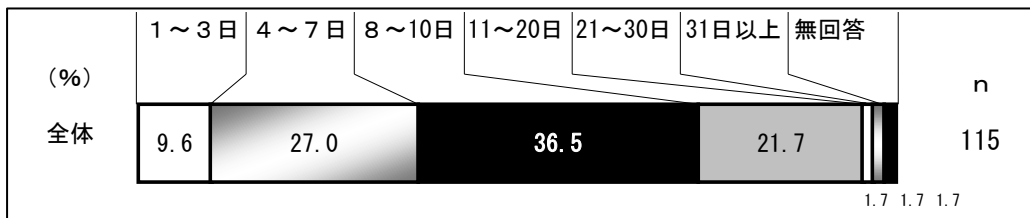
問 11-2 問 11-1 で「1」または「2」のいずれかに○を付けた方に伺います。その際、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまるもの1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。

「利用したい」(53.7%)、「利用したいとは思わない」(43.0%) となっている。



問 11-2-1 利用したい日数/年:病児・病後児保育

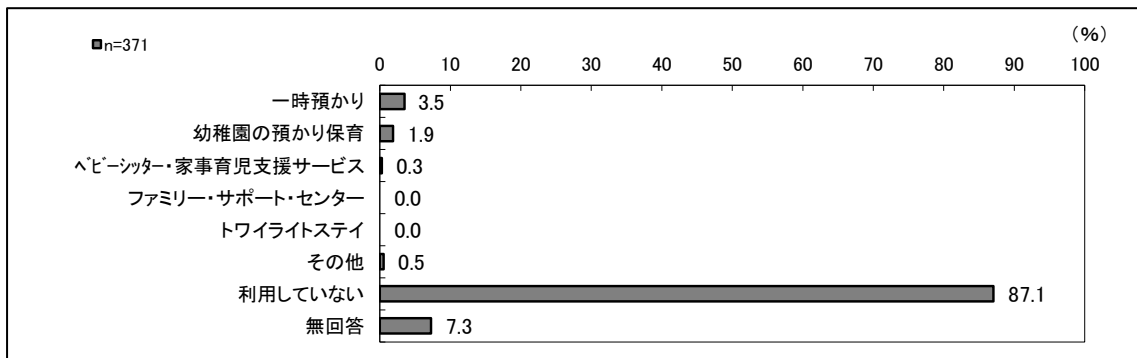
「8～10日」(36.5%)、「4～7日」(27.0%)、「11～20日」(21.7%)、「1～3日」(9.6%)、「21～30日」・「31日以上」(同率1.7%) となっている。



7. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 12 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまるものすべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を口内に数字でご記入ください。

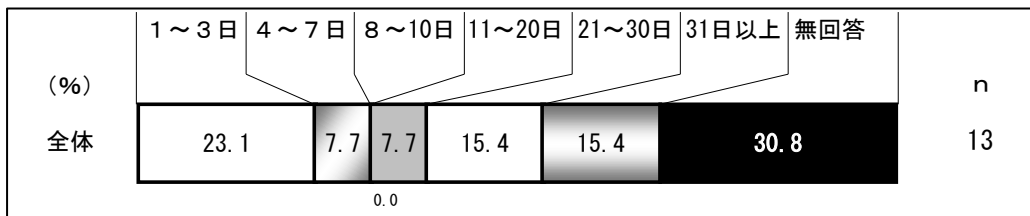
「一時預かり」（3.5%）、「幼稚園の預かり保育」（1.9%）、「ベビーシッター・家事育児支援サービス」（0.3%）となっている。なお、「利用していない」は87.1%であった。



日数については以下のとおりとなっている。

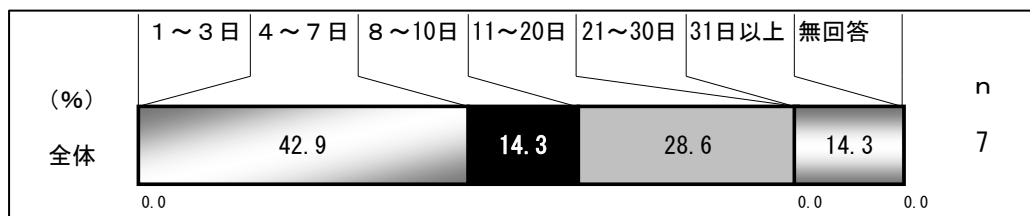
問 12 日数:1 一時預かり

「1～3日」（23.1%）、「21～30日」・「31日以上」（同率 15.4%）、「4～7日」・「11～20日」（同率 7.7%）となっている。



問 12 日数:2 幼稚園の預かり保育

「4～7日」（42.9%）、「11～20日」（28.6%）、「8～10日」・「31日以上」（同率 14.3%）となっている。



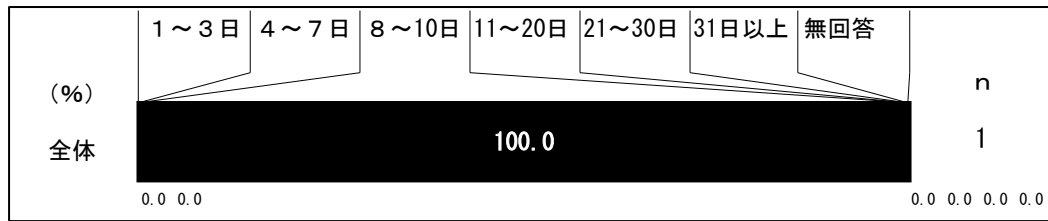
問 12 日数:3 ファミリー・サポート・センター

問 12 日数:4 トワイライトステイ

※該当なし

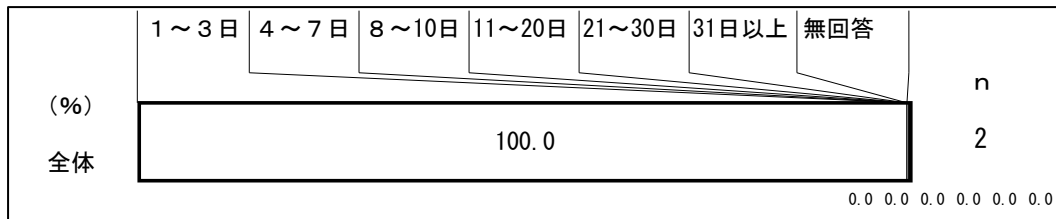
問 12 日数:5 ベビーシッター・家事育児支援サービス

「8～10日」(100.0%) となっている。



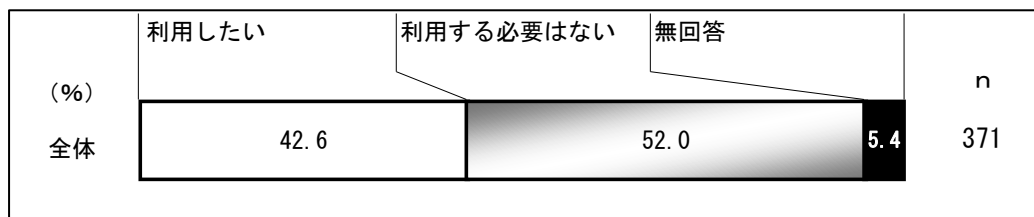
問 12 日数:6 その他

「1～3日」(100.0%) となっている。



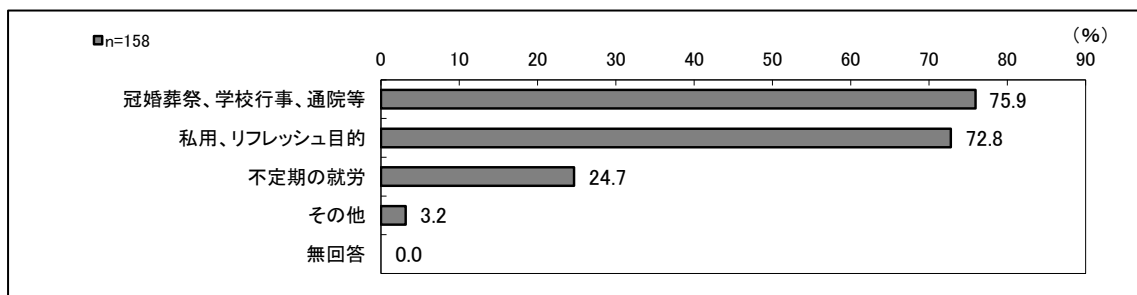
問 13 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、問 12 の選択肢に挙げられるような事業を利用したいと思いませんか。(1つに○)

「利用する必要はない」が 52.0%、一方、「利用したい」が 42.6% となっている。



問 13-1 問 13 で「1. 利用したい」に○をつけた方に伺います。年間で、何日くらい事業を利用する必要があると思いませんか。希望の利用目的としてあてはまるものすべてに○をつけ、それぞれについて1年間で利用したい日数を口内に数字でご記入ください。

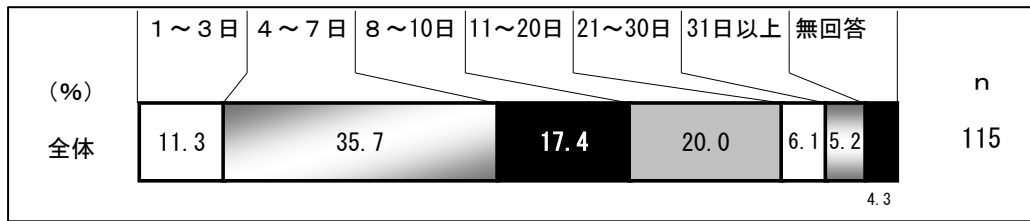
利用したい目的は、「冠婚葬祭、学校行事、通院等」(75.9%) が第1位、次いで、「私用、リフレッシュ目的」(72.8%)、「不特定の就労」(24.7%) となっている。



日数については以下のとおりとなっている。

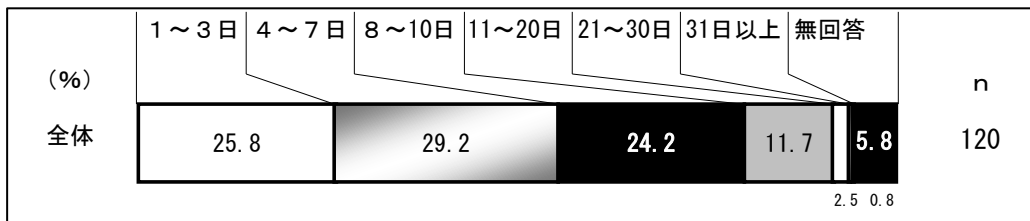
問 13-1 日数:1 私用、リフレッシュ目的

「4～7日」(35.7%)、「11～20日」(20.0%)、「8～10日」(17.4%)、「1～3日」(11.3%)、「21～30日」(6.1%)、「31日以上」(5.2%)となっている。



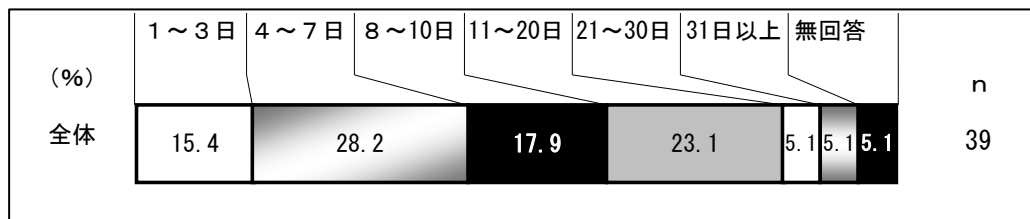
問 13-1 日数:2 冠婚葬祭、学校行事、通院等

「4～7日」(29.2%)、「1～3日」(25.8%)、「8～10日」(24.2%)、「11～20日」(11.7%)、「21～30日」(2.5%)、「31日以上」(0.8%)となっている。



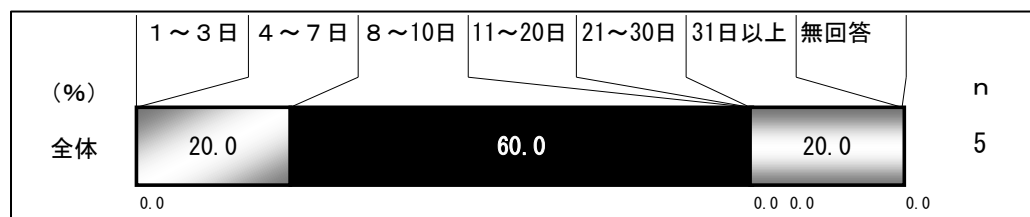
問 13-1 日数:3 不定期の就労

「4～7日」(28.2%)、「11～20日」(23.1%)、「8～10日」(17.9%)、「1～3日」(15.4%)、「21～30日」・「31日以上」(同率5.1%)となっている。



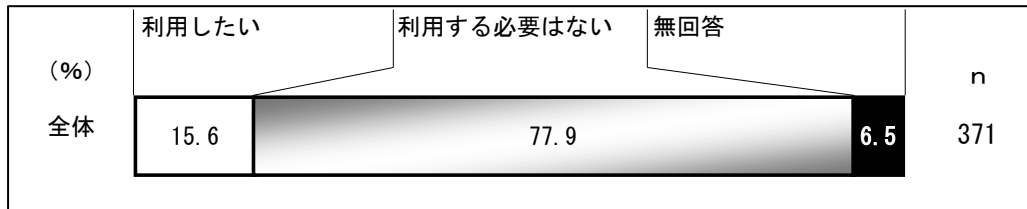
問 13-1 日数:4 その他

「8～10日」(60.0%)、「4～7日」・「31日以上」(同率20.0%)となっている。



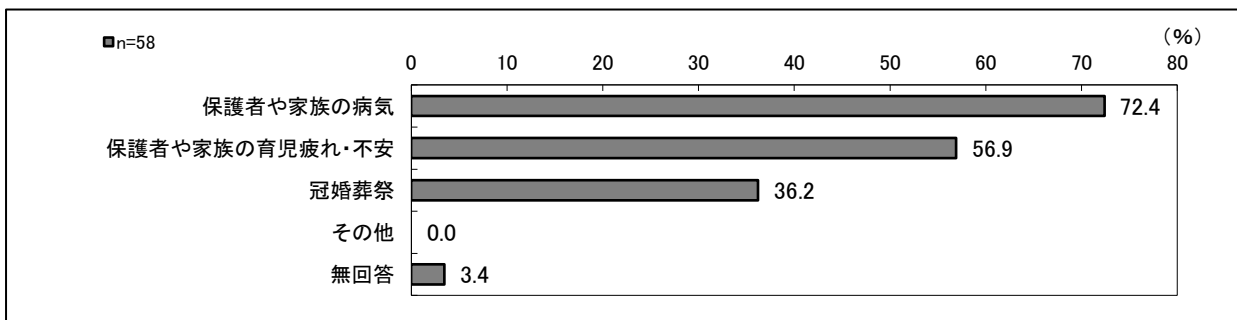
問 14 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで預けることができるサービス「短期入所生活援助事業（ショートステイ）：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業」を利用したいと思いますか。（1つに○）

「利用する必要はない」が77.9%、一方、「利用したい」が15.6%となっている。



・問 14-1 問 14 で「1. 利用したい」に○をつけた方に伺います。年間で、何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。希望の利用目的としてあてはまるものすべてに○をつけ、それぞれについて1年間で利用したい日数を口内に数字でご記入ください。

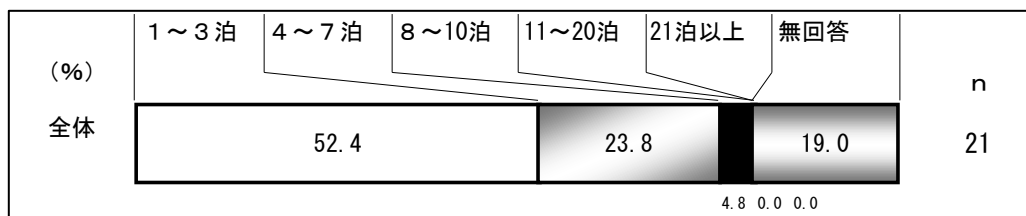
利用したい目的は、「保護者や家族の病気」(72.4%)が第1位、次いで、「保護者や家族の育児疲れ・不安」(56.9%)、「冠婚葬祭」(36.2%)となっている。



日数については以下のとおりとなっている。

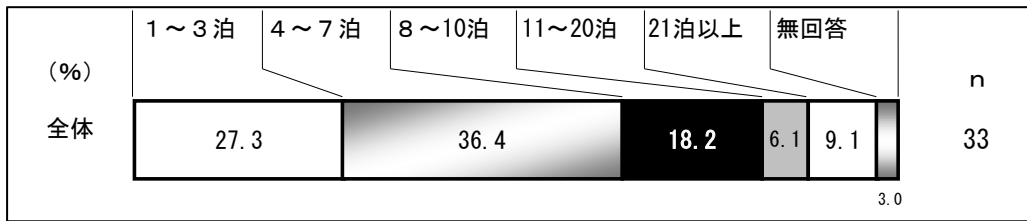
問 14-1 日数:1 冠婚葬祭

「1～3泊」(52.4%)、「4～7泊」(23.8%)、「8～10泊」(4.8%)となっている。



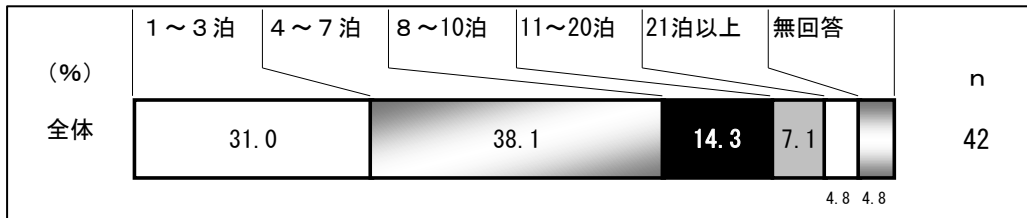
問 14-1 日数:2 保護者や家族の育児疲れ・不安

「4～7泊」(36.4%)、「1～3泊」(27.3%)、「8～10泊」(18.2%)、「21泊以上」(9.1%)、「11～20泊」(6.1%)となっている。



問 14-1 日数:3 保護者や家族の病気

「4～7泊」(38.1%)、「1～3泊」(31.0%)、「8～10泊」(14.3%)、「11～20泊」(7.1%)、「21泊以上」(4.8%)となっている。



問 14-1 日数:4 その他

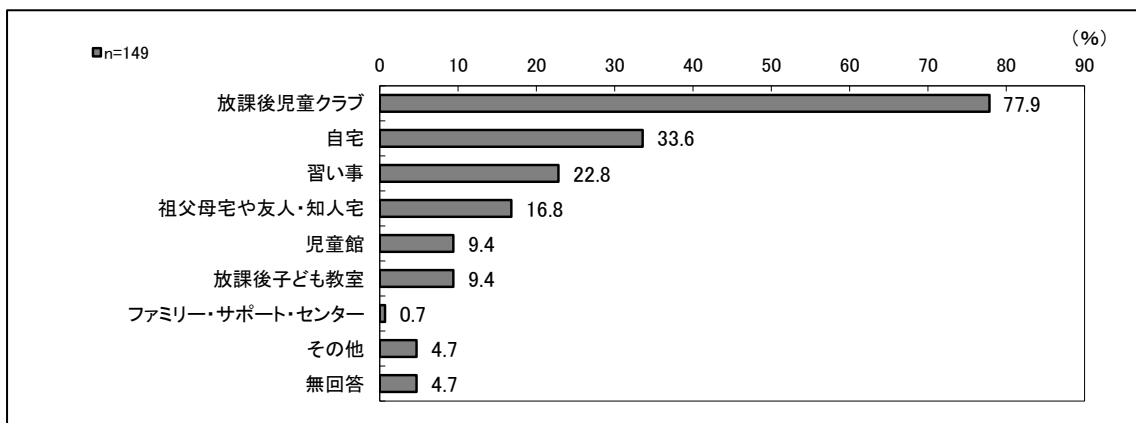
※該当なし

8. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

ここからは、宛名のお子さんが5歳以上である方に伺います。

問 15 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ週当たりの利用希望日数を口内に数字でご記入ください。

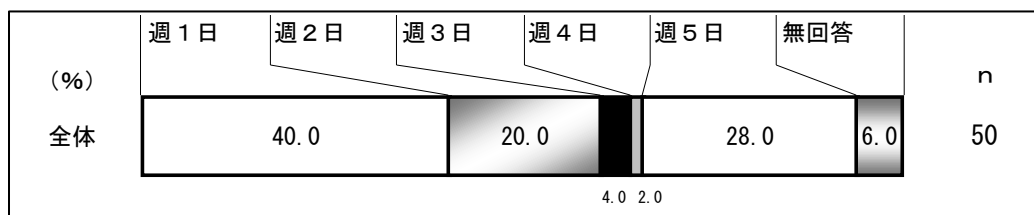
放課後の時間を過ごさせたい場所は、「放課後児童クラブ」（77.9%）が第1位、次いで、「自宅」（33.6%）、「習い事」（22.8%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（16.8%）、「児童館」・「放課後子ども教室」（同率9.4%）、「ファミリー・サポート・センター」（0.7%）となっている。



低学年のうちに放課後の時間を過ごさせたい場所ごとの希望の日数は、下記のとおりである。

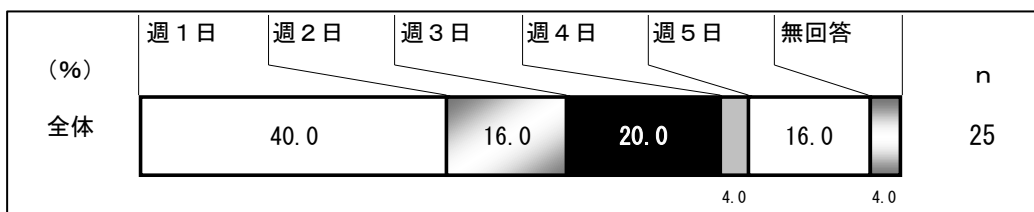
問 15 希望日数:1 自宅

「週1日」（40.0%）、「週5日」（28.0%）、「週2日」（20.0%）、「週3日」（4.0%）、「週4日」（2.0%）となっている。



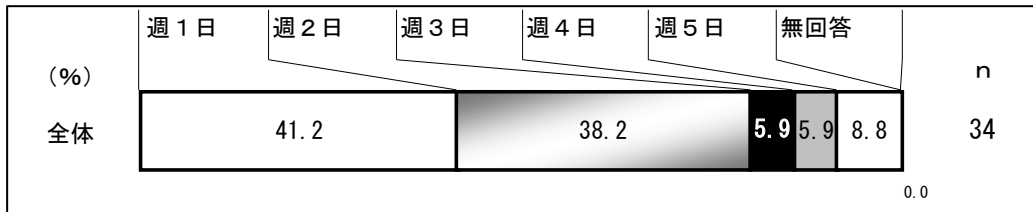
問 15 希望日数:2 祖父母宅や友人・知人宅

「週1日」（40.0%）、「週3日」（20.0%）、「週2日」・「週5日」（同率16.0%）、「週4日」（4.0%）となっている。



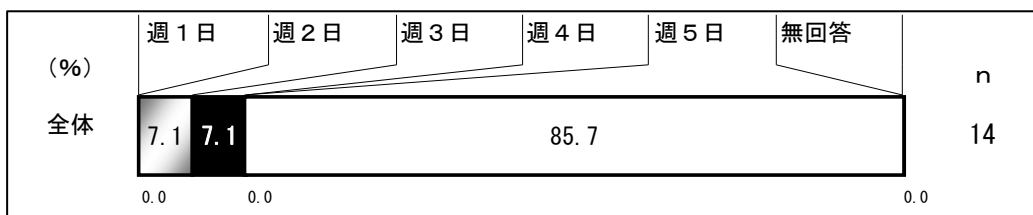
問 15 希望日数:3 習い事

「週 1 日」(41.2%)、「週 2 日」(38.2%)、「週 5 日」(8.8%)、「週 3 日」・「週 4 日」(同率 5.9%)
 となっている。



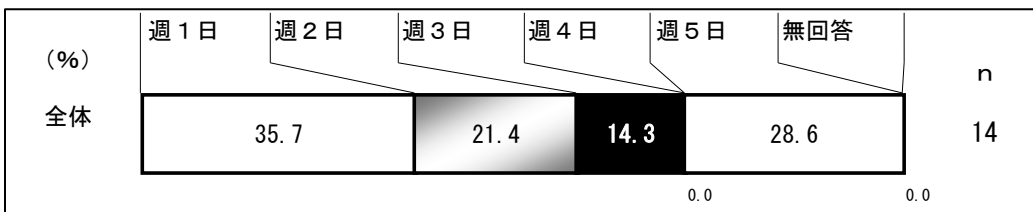
問 15 希望日数:4 児童館

「週 5 日」(85.7%)、「週 2 日」・「週 3 日」(同率 7.1%) となっている。



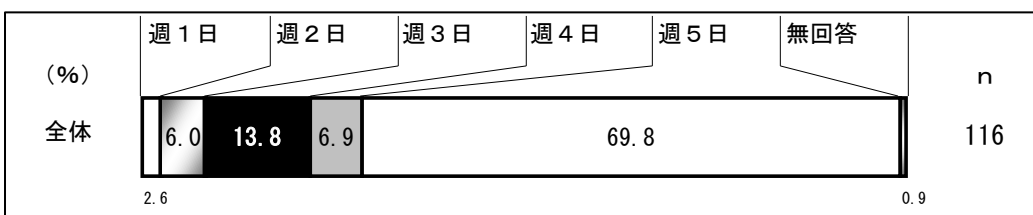
問 15 希望日数:5 放課後子ども教室

「週 1 日」(35.7%)、「週 5 日」(28.6%)、「週 2 日」(21.4%)、「週 3 日」(14.3%) となっている。



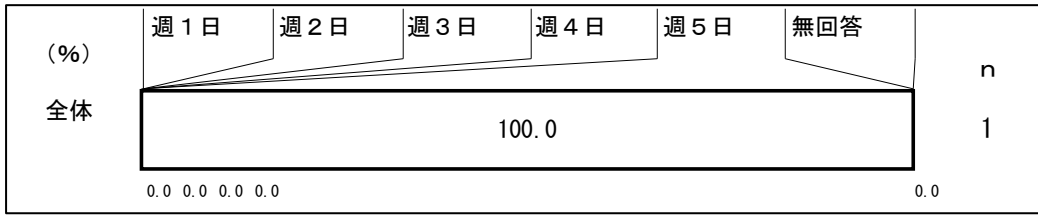
問 15 希望日数:6 放課後児童クラブ

「週 5 日」(69.8%)、「週 3 日」(13.8%)、「週 4 日」(6.9%)、「週 2 日」(6.0%)、「週 1 日」(2.6%)
 となっている。



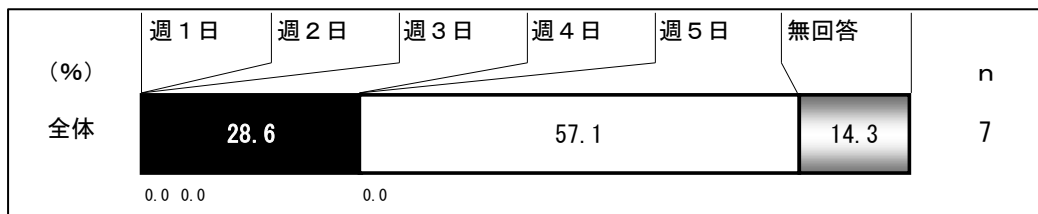
問 15 希望日数:7 ファミリー・サポート・センター

「週 5 日」(100.0%) となっている。



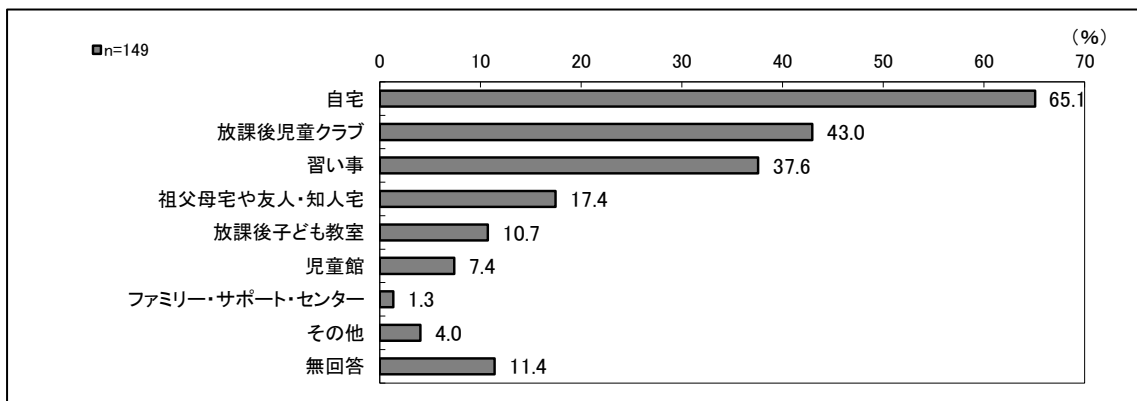
問 15 希望日数:8 その他

「週 5 日」(57.1%)、「週 3 日」(28.6%) となっている。



問 16 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ週当たりの利用希望日数を口内に数字でご記入ください。

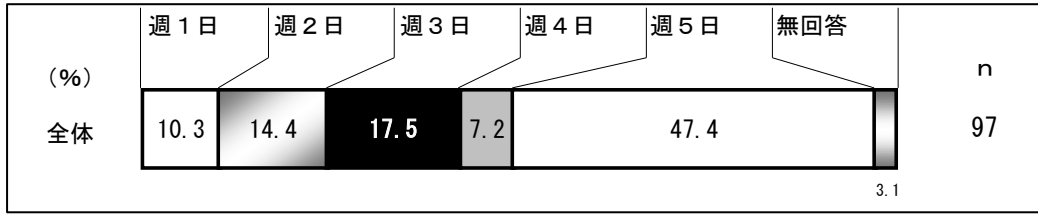
放課後の時間を過ごさせたい場所は、「自宅」(65.1%)が第1位、次いで、「放課後児童クラブ」(43.0%)、「習い事」(37.6%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(17.4%)、「放課後子ども教室」(10.7%)、「児童館」(7.4%)、「ファミリー・サポート・センター」(1.3%)となっている。



高学年のうちに放課後の時間を過ごさせたい場所ごとの希望の日数は、下記のとおりである。

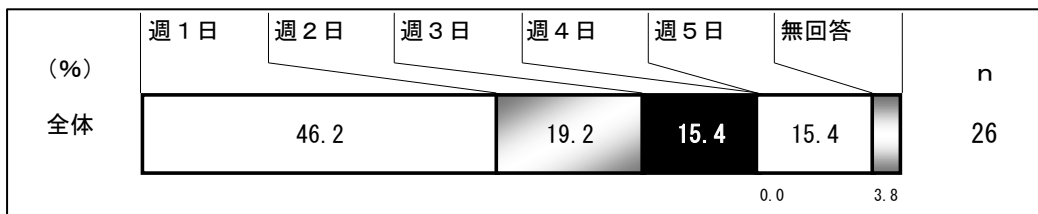
問 16 希望日数:1 自宅

「週 5 日」(47.4%)、「週 3 日」(17.5%)、「週 2 日」(14.4%)、「週 1 日」(10.3%)、「週 4 日」(7.2%) となっている。



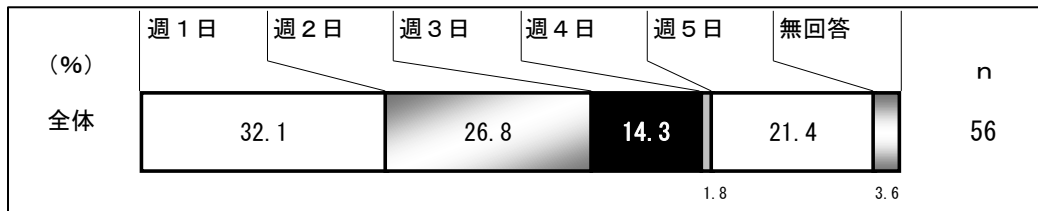
問 16 希望日数:2 祖父母宅や友人・知人宅

「週 1 日」(46.2%)、「週 2 日」(19.2%)、「週 3 日」・「週 5 日」(同率 15.4%) となっている。



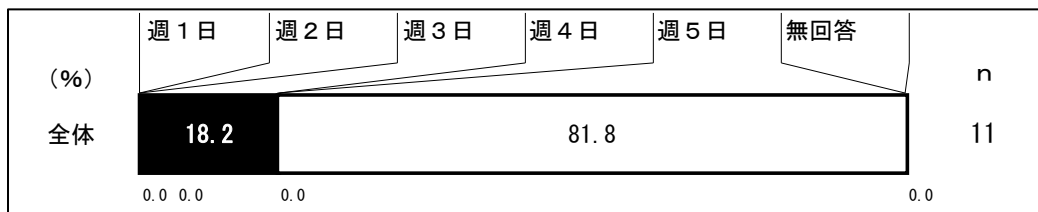
問 16 希望日数:3 習い事

「週 1 日」(32.1%)、「週 2 日」(26.8%)、「週 5 日」(21.4%)、「週 3 日」(14.3%)、「週 4 日」(1.8%) となっている。



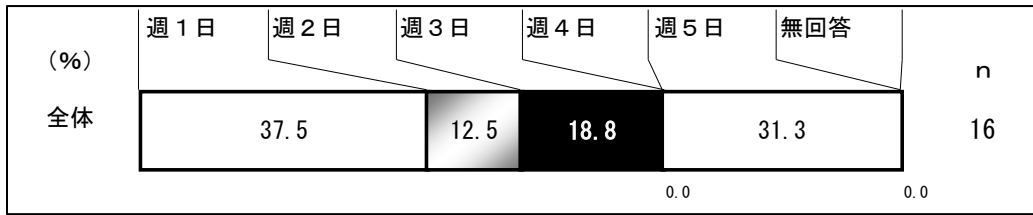
問 16 希望日数:4 児童館

「週 5 日」(81.8%)、「週 3 日」(18.2%) となっている。



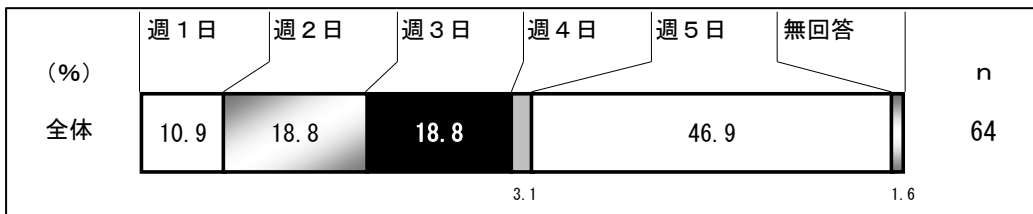
問 16 希望日数:5 放課後子ども教室

「週 1 日」(37.5%)、「週 5 日」(31.3%)、「週 3 日」(18.8%)、「週 2 日」(12.5%) となっている。



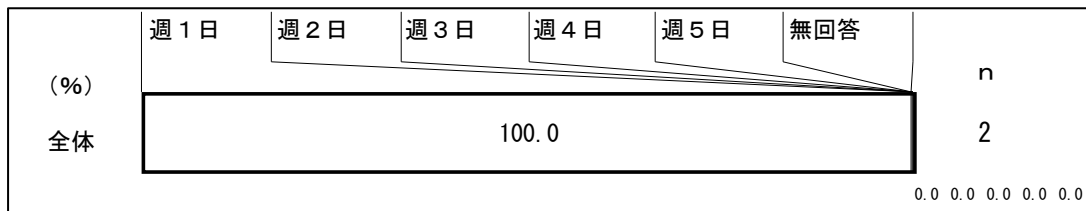
問 16 希望日数:6 放課後児童クラブ

「週 5 日」(46.9%)、「週 2 日」・「週 3 日」(同率 18.8%)、「週 1 日」(10.9%)、「週 4 日」(3.1%) となっている。



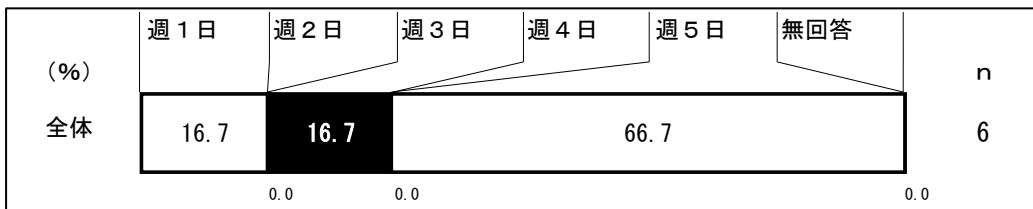
・ 日数 : 7 ファミリー・サポート・センター

「週 1 日」(100.0%) となっている。



問 16 希望日数:8 その他

「週 5 日」(66.7%)、「週 1 日」(16.7%)、「週 3 日」(16.7%) となっている。

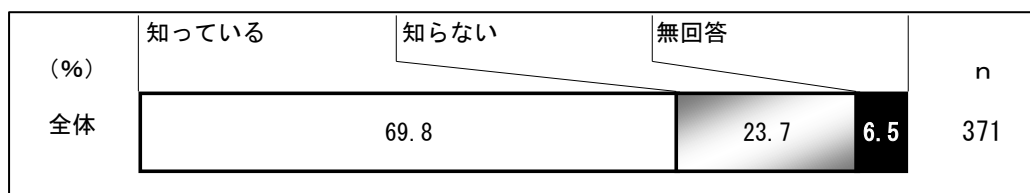


9. 児童虐待について

問 17 児童虐待について次のことを知っていますか。次の①～③のそれぞれについて「1. はい」「2. いいえ」のいずれかに○をつけてください。

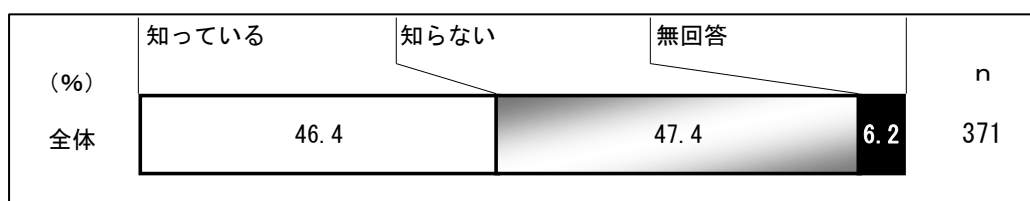
① 「児童虐待の防止等に関する法律」（児童虐待防止法）を知っていますか

「知っている」が69.8%、一方、「知らない」が23.7%となっている。



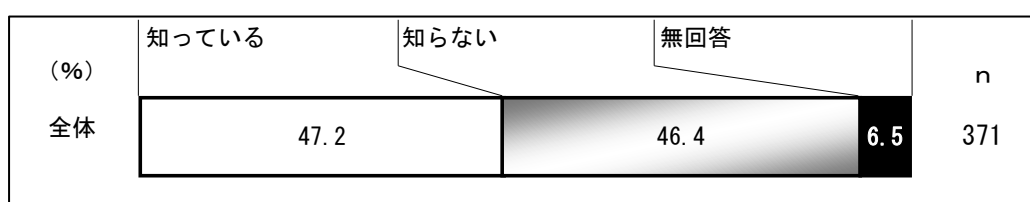
② 児童虐待を発見した場合の通報先を知っていますか

「知らない」が47.4%、一方、「知っている」が46.4%となっている。



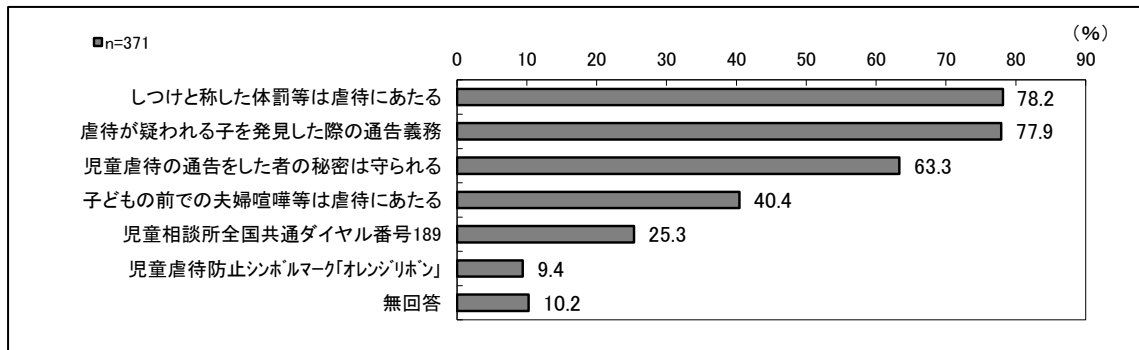
③ ご家庭で虐待の心配があったら相談できる機関を知っていますか

「知っている」が47.2%、一方、「知らない」が46.4%となっている。



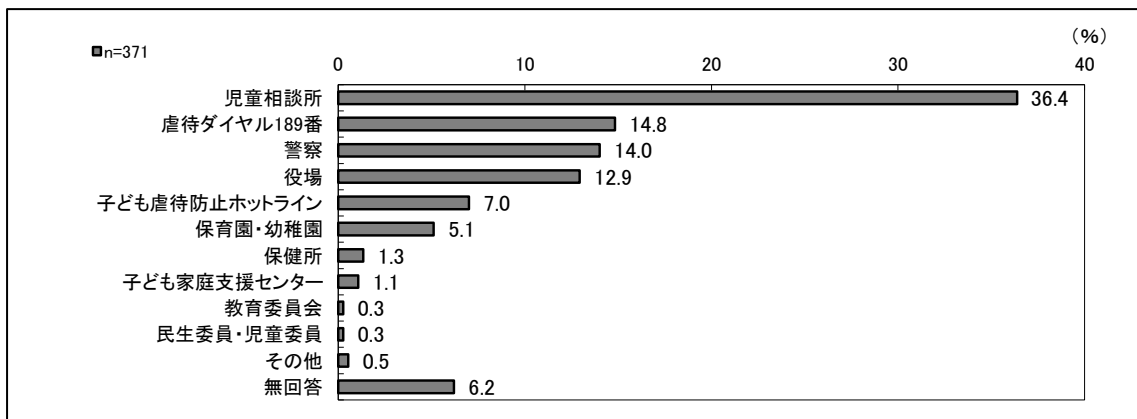
問 18 児童虐待について次のことを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

児童虐待について知っていることは、「しつけと称した体罰等は虐待にあたる」(78.2%)が第1位、次いで、「虐待が疑われる子を発見した際の通告義務」(77.9%)、「児童虐待の通告をした者の秘密は守られる」(63.3%)、「子どもの前での夫婦喧嘩等は虐待にあたる」(40.4%)、「児童相談所全国共通ダイヤル番号 189」(25.3%)、「児童虐待防止シンボルマーク「オレンジリボン」」(9.4%)となっている。



問 19 児童虐待を発見した場合には、次の選択欄のどちらにも通告や通報等ができます。その中でも、あなたはどちらに連絡しようと思いますか。(1つに○)

児童虐待を発見した場合の通報・通告先は、「児童相談所」(36.4%)が第1位、次いで、「虐待ダイヤル 189 番」(14.8%)、「警察」(14.0%)、「役場」(12.9%)、「子ども虐待防止ホットライン」(7.0%)、「保育園・幼稚園」(5.1%)、「保健所」(1.3%)、「子ども家庭支援センター」(1.1%)、「教育委員会」・「民生委員・児童委員」(同率 0.3%)となっている。

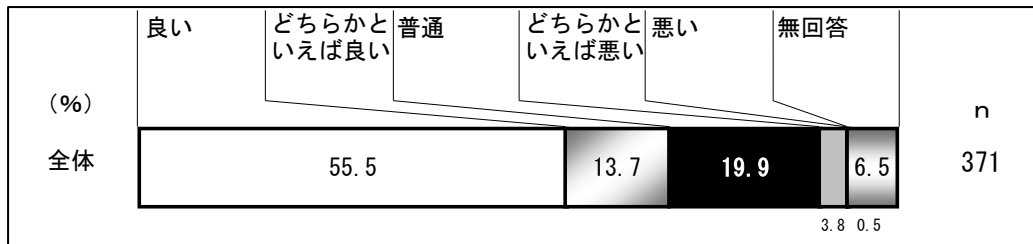


10. 健康状況について

問 20 あなたとお子さんの健康状態について伺います。最も近いもの1つに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

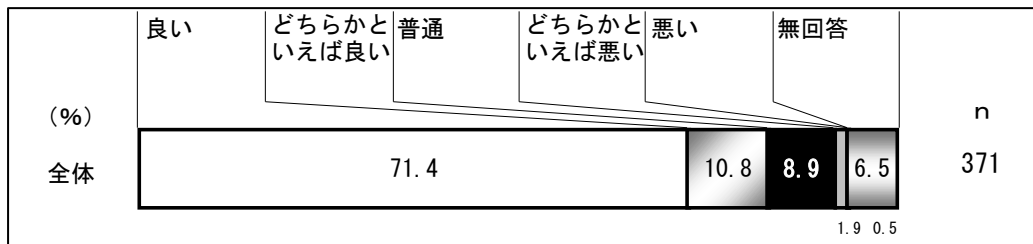
A 回答者の健康状態

「良い」(55.5%)、「普通」(19.9%)、「どちらかといえば良い」(13.7%)、「どちらかといえば悪い」(3.8%)、「悪い」(0.5%)となっている。



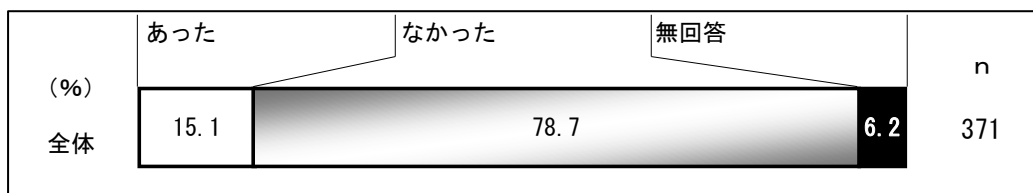
B 子どもの健康状態

「良い」(71.4%)、「どちらかといえば良い」(10.8%)、「普通」(8.9%)、「どちらかといえば悪い」(1.9%)、「悪い」(0.5%)となっている。



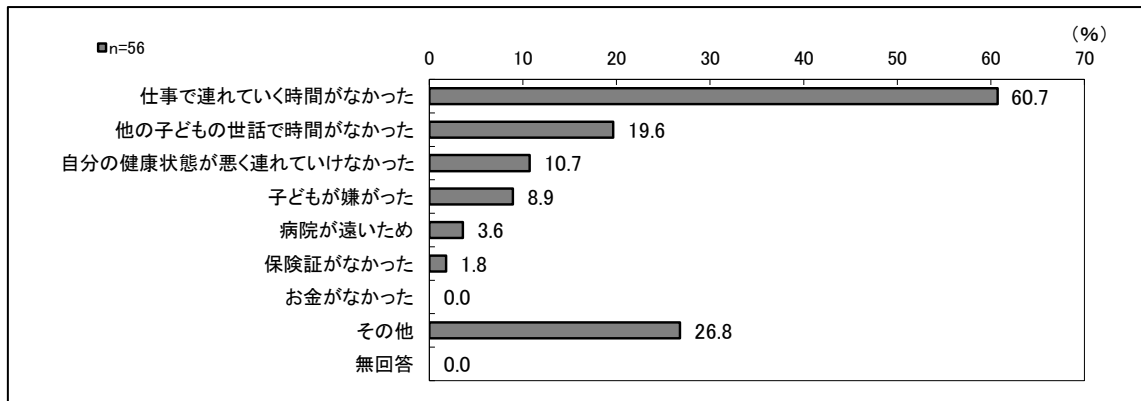
問 21 過去1年間に、お子さん(きょうだいを含む)を病院や歯医者で受診させた方が良かったと思っただが、実際には受診させなかったことがありますか。(1つに○)

「なかった」が78.7%、一方、「あった」が15.1%となっている。



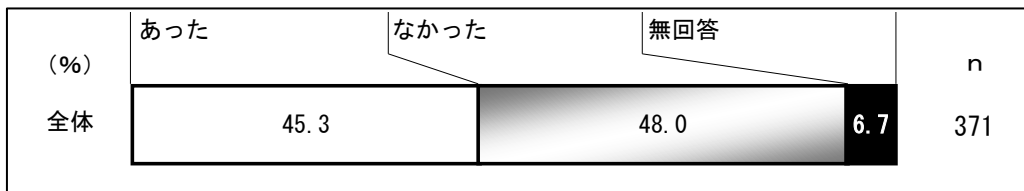
問 21-1 問 21 で「1. あった」と回答した方に伺います。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

受診させなかった理由については、「仕事で連れていく時間がなかった」(60.7%)が第1位、次いで、「他の子どもの世話で時間がなかった」(19.6%)、「自分の健康状態が悪く連れていけなかった」(10.7%)、「子どもが嫌がった」(8.9%)、「病院が遠いため」(3.6%)、「保険証がなかった」(1.8%)となっている。



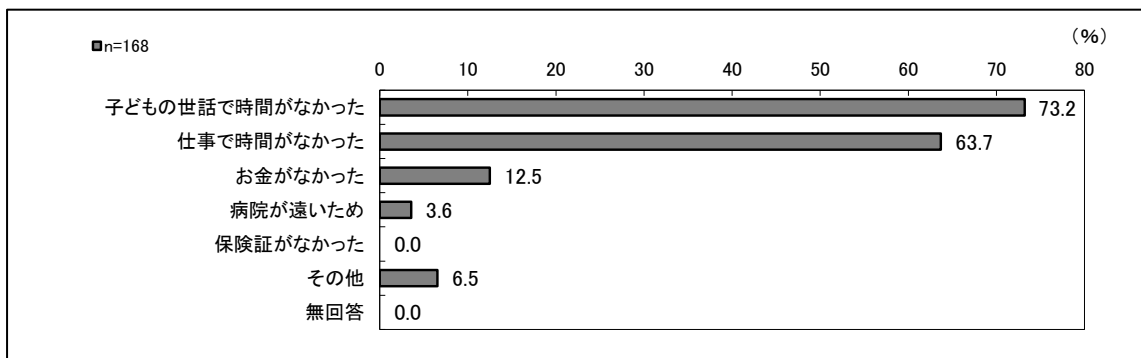
問 22 過去1年間に、あなたが病院や歯医者を受診したいのに受診できなかったことがありますか。(1つに○)

「なかった」が48.0%、一方、「あった」が45.3%となっている。



問 22-1 問 22 で「1. あった」と回答した方に伺います。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

受診できなかった理由については、「子どもの世話で時間がなかった」(73.2%)が最も多く、以下、「仕事で時間がなかった」(63.7%)、「お金がなかった」(12.5%)、「病院が遠いため」(3.6%)となっている。

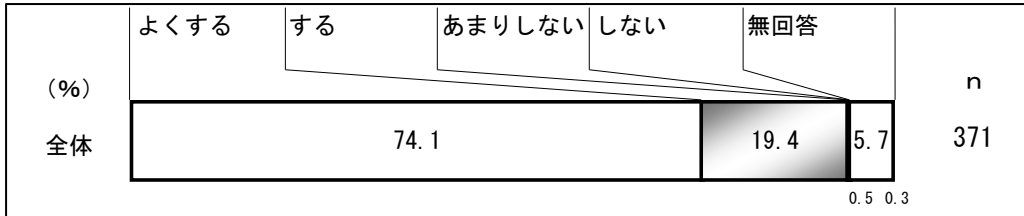


11. 子どもとの関係について

問 23 あなたとお子さんの関係について、最も近いもの1つに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

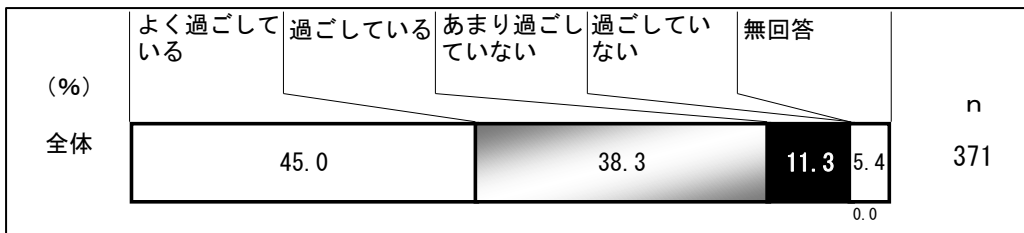
A よく会話をする

「よくする」(74.1%)、「する」(19.4%)、「あまりしない」(0.5%)、「しない」(0.3%)となっている。



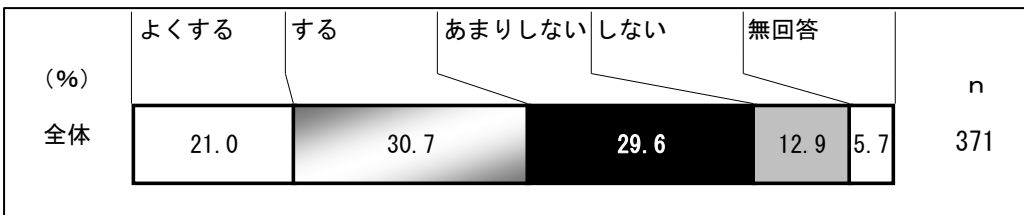
B 十分時間を過ごす

「よく過ごしている」(45.0%)、「過ごしている」(38.3%)、「あまり過ごしていない」(11.3%)となっている。



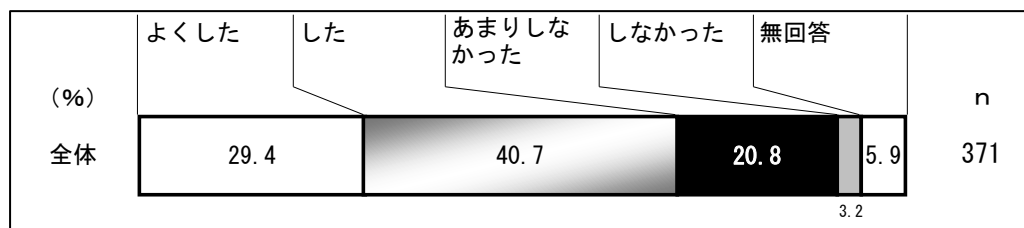
C 本の感想を話し合う

「する」(30.7%)、「あまりしない」(29.6%)、「よくする」(21.0%)、「しない」(12.9%)となっている。



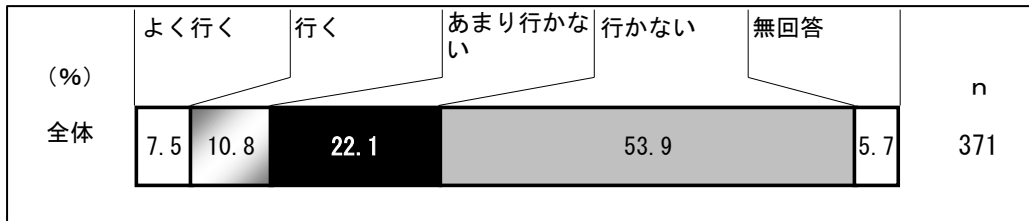
D 小さいころ絵本の読み聞かせ

「した」(40.7%)、「よくした」(29.4%)、「あまりしなかった」(20.8%)、「しなかった」(3.2%)となっている。



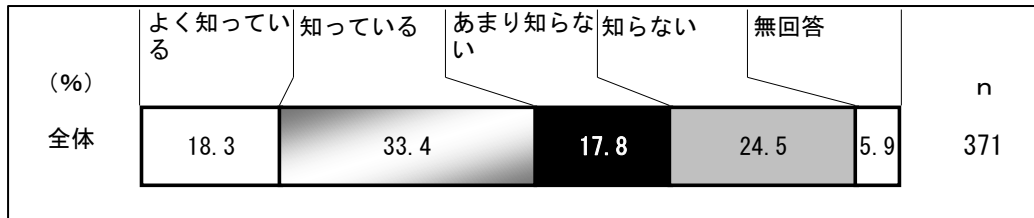
E 一緒に図書館に行く

「行かない」(53.9%)、「あまり行かない」(22.1%)、「行く」(10.8%)、「よく行く」(7.5%)
 となっている。



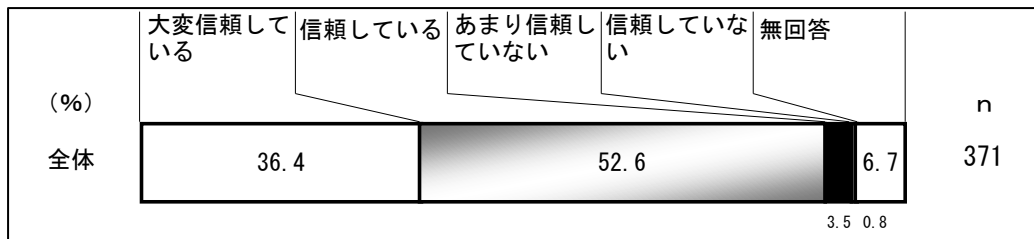
F 将来の夢を知っている

「知っている」(33.4%)、「知らない」(24.5%)、「よく知っている」(18.3%)、「あまり知らない」(17.8%)
 となっている。



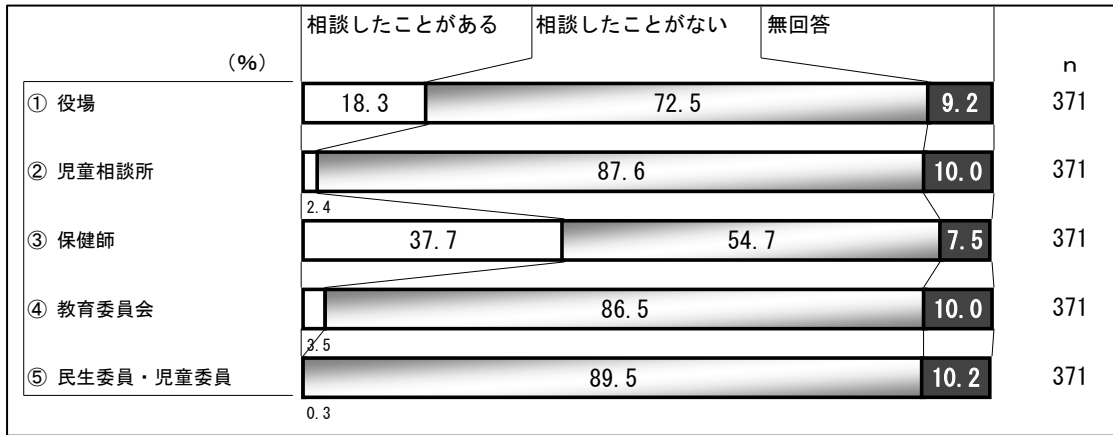
G 子どもを信頼している

「信頼している」(52.6%)、「大変信頼している」(36.4%)、「あまり信頼していない」(3.5%)、
 「信頼していない」(0.8%) となっている。



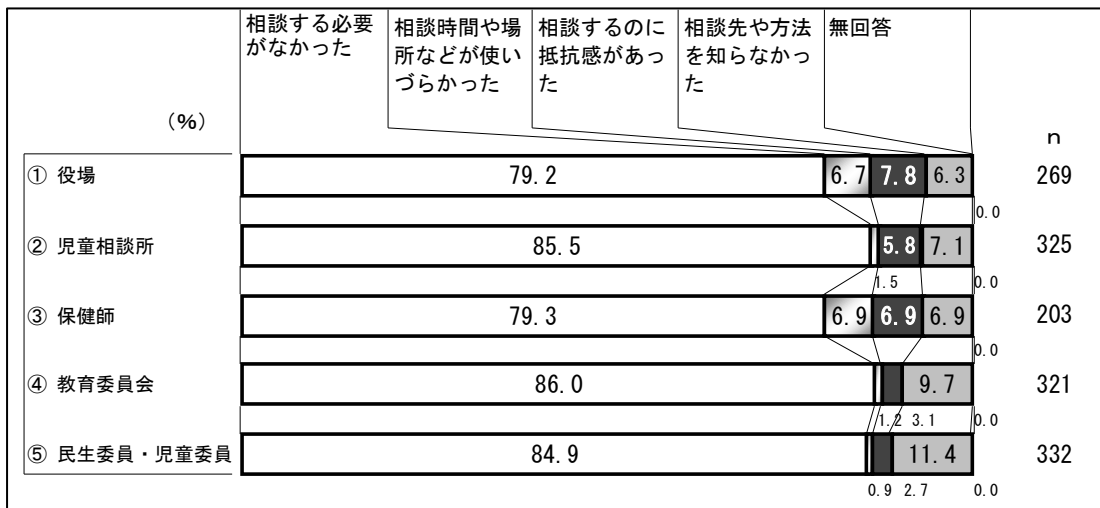
問 24 これまでに、次のような機関や相談員に、子育てや生活のことで相談をしたことがありますか。また、相談したことがない場合はその理由にもっとも近いものに○をつけてください。(①～⑤それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

「相談したことがある」の率をみると、「③ 保健師」(37.7%)、「① 役場」(18.3%)、「④ 教育委員会」(3.5%)、「② 児童相談所」(2.4%)、「⑤ 民生委員・児童委員」(0.3%)となっている。



・相談したことがない理由

「相談したことがない理由」の率みると、どの相談先も「相談する必要がなかった」が高率となっている。



問 25 これまでに、次の制度を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合はその理由にもっとも近いものに○をつけてください。(①～⑤それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

「利用したことがある制度」の率をみると、「① 児童扶養手当」(43.9%)、「⑤ 就学援助」(5.4%) などとなっている。

(%)	利用したことがある	利用したことがない	無回答	n
① 児童扶養手当	43.9	48.0	8.1	371
② 生活保護	0.0	91.4	8.6	371
③ 生活福祉資金	0.0	90.3	8.6	371
④ 母子父子寡婦福祉資金	0.0	90.0	9.2	371
⑤ 就学援助	5.4	86.3	8.4	371

・利用したことがない理由

「利用したことがない理由」の率みると、どの制度も「利用する必要がなかった・制度の対象外」が高率となっている。

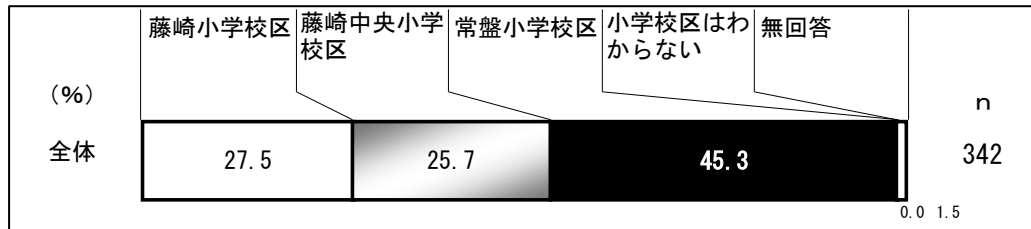
(%)	利用する必要がなかった・制度の対象外	利用したかったが条件を満たしていなかった	利用したかったが制度が使えなかった	利用するのに抵抗があった	利用のしかたがわからなかった	制度やサービスについて知らなかった	無回答	n
① 児童扶養手当	81.5	5.6	5.1	7.9	0.0	0.0	0.0	178
② 生活保護	92.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	339
③ 生活福祉資金	83.3	0.6	0.3	0.0	0.0	0.0	3.6	335
④ 母子父子寡婦福祉資金	86.2	0.6	0.3	0.0	0.0	0.0	3.9	334
⑤ 就学援助	84.7	1.3	0.3	0.0	0.0	4.4	0.0	320

IV 小学生の調査結果

1. 居住地区について

問1 お住まいの地区はどちらですか。(1つに○)

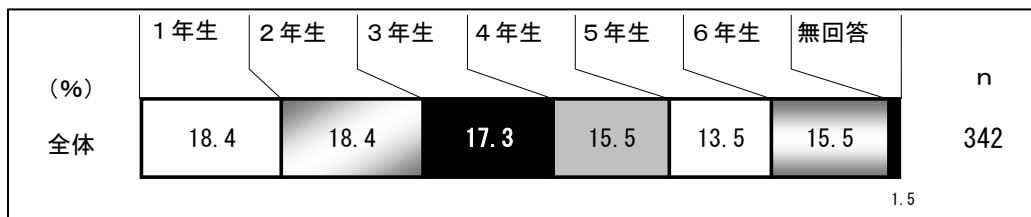
「常盤小学校区」(45.3%)、「藤崎小学校区」(27.5%)、「藤崎中央小学校区」(25.7%)となっている。



2. 家族の状況について

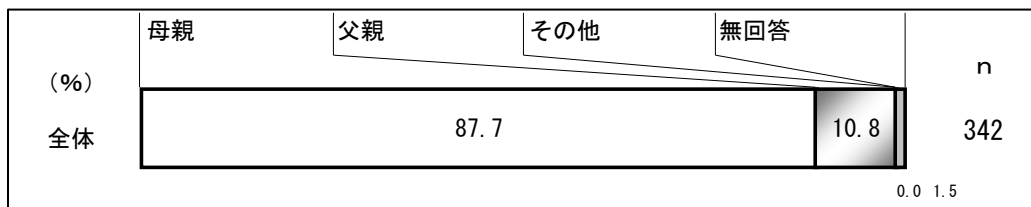
問2 宛名のお子さんは現在何年生ですか。(1つに○)

「1年生」・「2年生」(同率18.4%)、「3年生」(17.3%)、「4年生」・「6年生」(同率15.5%)、「5年生」(13.5%)となっている。



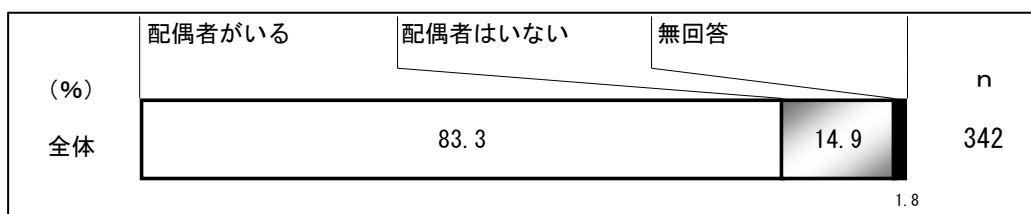
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

「母親」が87.7%、一方、「父親」が10.8%となっている。



問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶者の有無についてお答えください。(1つに○)

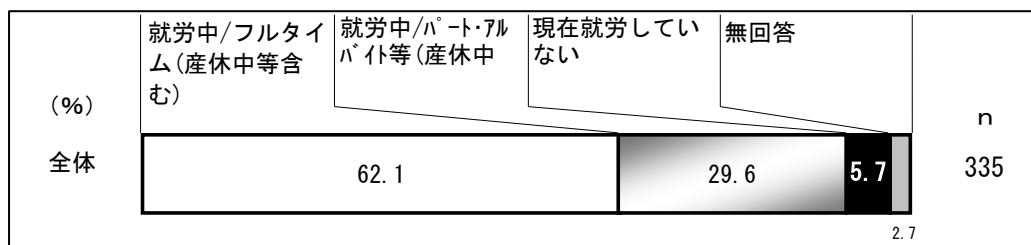
「配偶者がいる」が83.3%、一方、「配偶者はいない」が14.9%となっている。



3. 保護者の就労状況について

問5 宛名のお子さんの「母親」の現在の就労状況（自営業、農業、家族従事者含む）についてお答えください。（1つに○）

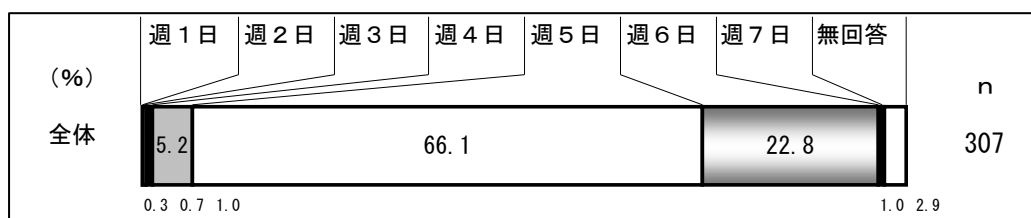
「就労中/フルタイム（産休中等含む）」（62.1%）が最も多く、以下、「就労中/パート・アルバイト等（産休中等含む）」（29.6%）、「現在就労していない」（5.7%）となっている。



問5-1 問5で「1」または「2」に○をつけた方（お勤めの方）に伺います。休業中の方は、休業以前の状況についてお答えください。現在の、1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

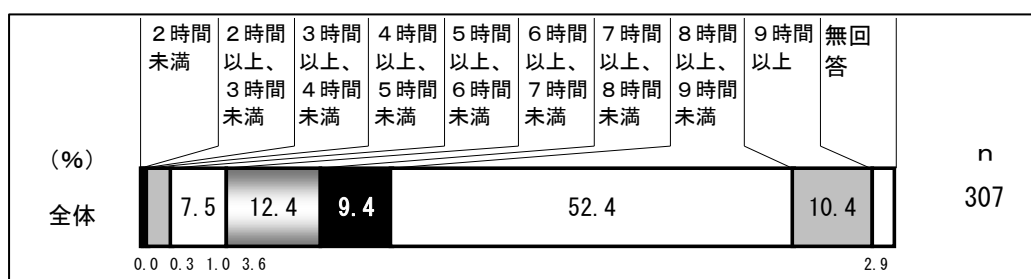
問5-1-1 母親：1週当たり就労日数

「週5日」（66.1%）が最も多く、以下、「週6日」（22.8%）、「週4日」（5.2%）、「週3日」・「週7日」（同率1.0%）、「週2日」（0.7%）、「週1日」（0.3%）となっている。



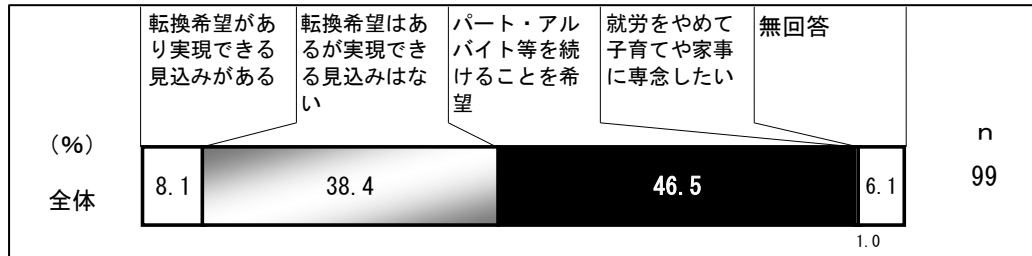
問5-1-2 母親：1日当たり就労時間

「8時間以上、9時間未満」（52.4%）が最も多く、以下、「6時間以上、7時間未満」（12.4%）、「9時間以上」（10.4%）、「7時間以上、8時間未満」（9.4%）、「5時間以上、6時間未満」（7.5%）、「4時間以上、5時間未満」（3.6%）、「3時間以上、4時間未満」（1.0%）、「2時間以上、3時間未満」（0.3%）となっている。



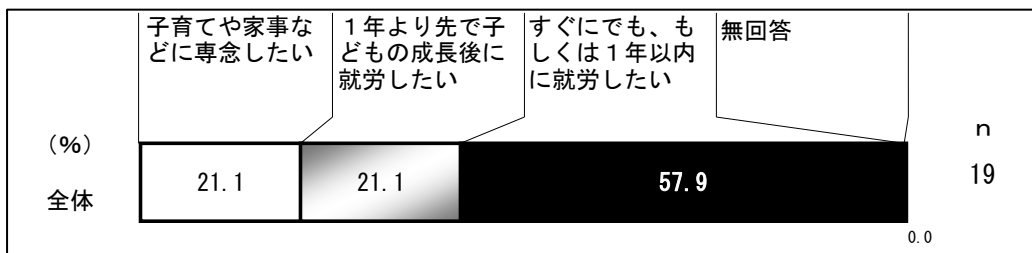
問 5-2 問5で「2」に○をつけた方（お勤めの方のうち、パート・アルバイト等の方）に伺います。
フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。（1つに○）

「パート・アルバイト等続けることを希望」（46.5%）が最も多く、以下、「転換希望はあるが実現できる見込みはない」（38.4%）、「転換希望があり実現できる見込みがある」（8.1%）、「就労をやめて子育てや家事に専念したい」（1.0%）となっている。



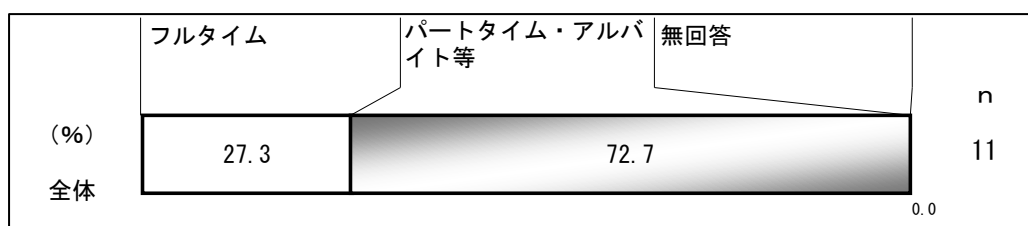
問 5-3 問5で「3」に○をつけた方（就労していない方）に伺います。就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（57.9%）が最も多く、以下、「子育てや家事などに専念したい」・「1年より先で子どもの成長後に就労したい」（同率21.1%）、となっている。



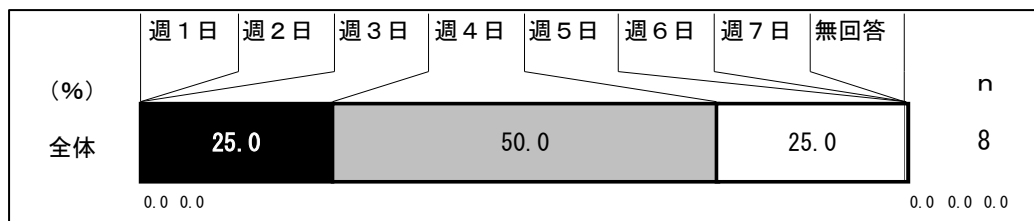
問 5-3-1 母親：就労希望の形態

「パートタイム・アルバイト等」（72.7%）、「フルタイム」（27.3%）となっている。



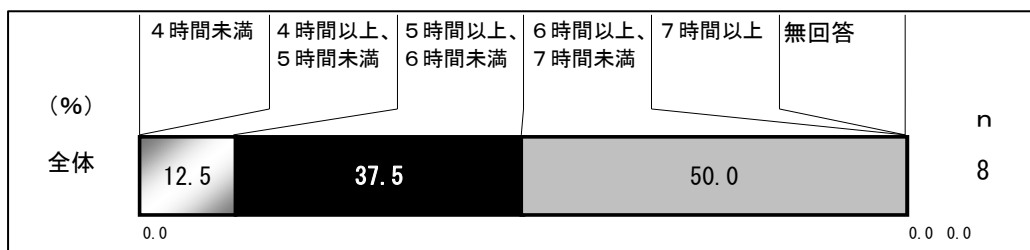
問 5-3-1-1 母親:希望就労日数/週

「週 4 日」(50.0%) が最も多く、以下、「週 3 日」・「週 5 日」(同率 25.0%) となっている。



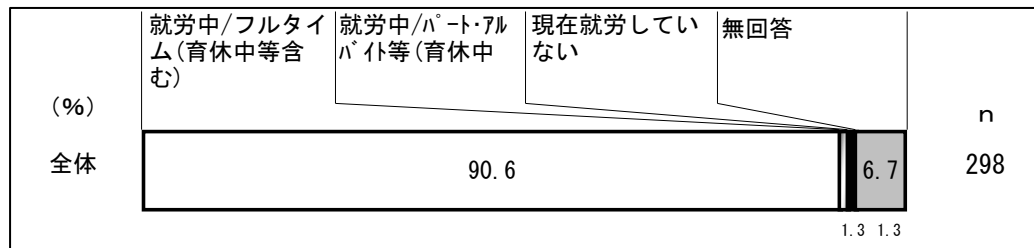
問 5-3-1-2 母親:希望就労時間/日

「6 時間以上、7 時間未満」(50.0%) が最も多く、以下、「5 時間以上、6 時間未満」(37.5%)、「4 時間以上、5 時間未満」(12.5%) となっている。



問 6 宛名のお子さんの「父親」の現在の就労状況（自営業、農業、家族従事者含む）についてお答えください。（1つに○）

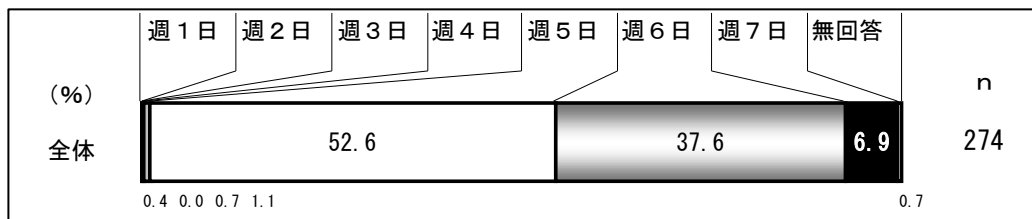
「就労中/フルタイム(育休中等含む)」(90.6%) が最も多く、以下、「就労中/パート・アルバイト等(育休中等含む)」・「現在就労していない」(同率 1.3%) となっている。



問 6-1 問6で「1」または「2」に○をつけた方（お勤めの方）に伺います。休業中の方は、休業以前の状況についてお答えください。現在の、1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

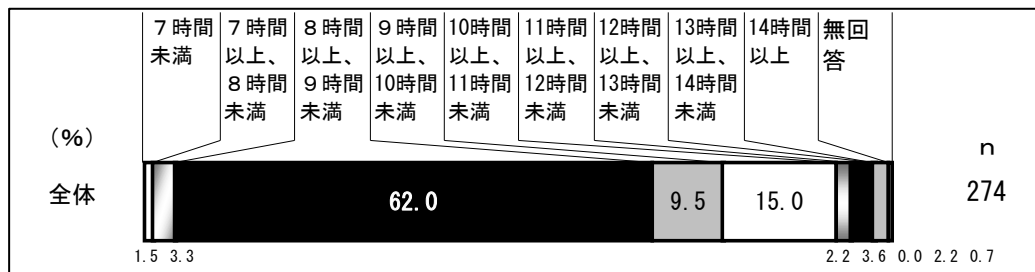
問 6-1-1 父親：1週当たり就労日数

「週5日」（52.6%）が最も多く、以下、「週6日」（37.6%）、「週7日」（6.9%）、「週4日」（1.1%）、「週3日」（0.7%）、「週1日」（0.4%）となっている。



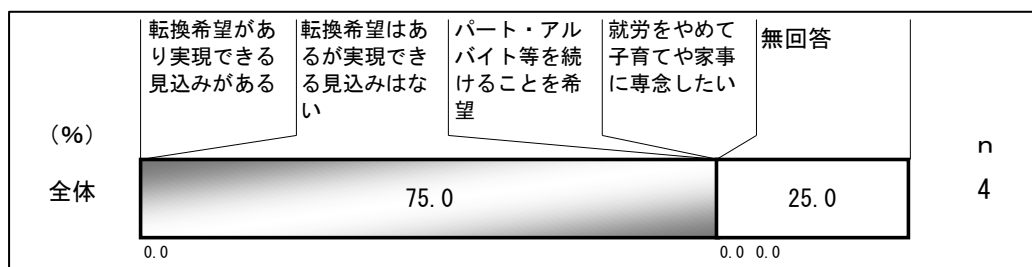
問 6-1-2 父親：1日当たり就労時間

「8時間以上、9時間未満」（62.0%）が最も多く、以下、「10時間以上、11時間未満」（15.0%）、「9時間以上、10時間未満」（9.5%）、「12時間以上、13時間未満」（3.6%）、「7時間以上、8時間未満」（3.3%）、「11時間以上、12時間未満」・「14時間以上」（同率2.2%）、「7時間未満」（1.5%）となっている。



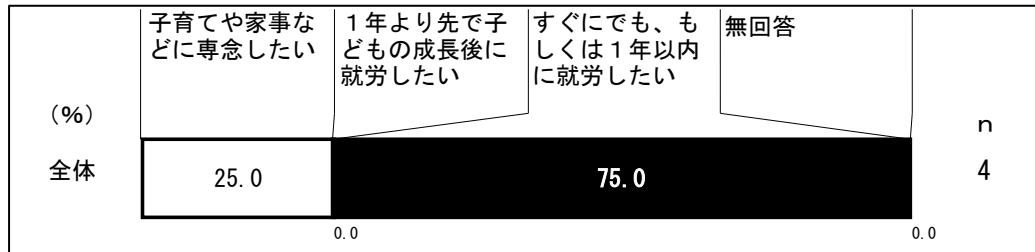
問 6-2 問6で「2」に○をつけた方（お勤めの方のうち、パート・アルバイト等の方）に伺います。フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。（1つに○）

「転換希望はあるが実現できる見込みはない」（75.0%）となっている。



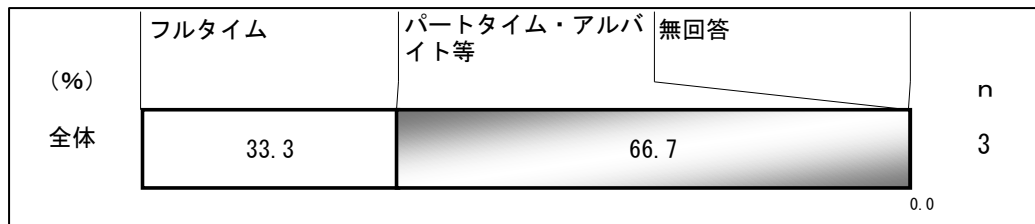
問 6-3 問6で「3」に○をつけた方（就労していない方）に伺います。就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（75.0%）、「子育てや家事などに専念したい」（25.0%）となっている。



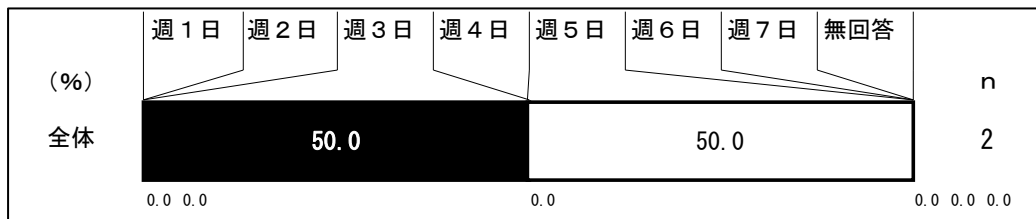
問 6-3-1 父親:就労希望の形態

「パートタイム・アルバイト等」（66.7%）、「フルタイム」（33.3%）となっている。



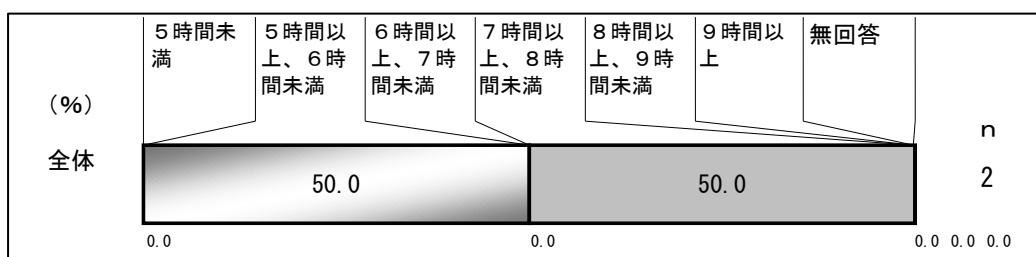
問 6-3-1-1 父親:希望就労日数/週

「週3日」・「週5日」（同率50.0%）となっている。



問 6-3-1-2 父親:希望就労時間/日

「5時間以上、6時間未満」・「7時間以上、8時間未満」（同率50.0%）となっている。



4. 地域の子育て支援事業の認知状況や利用状況について

問7 次の事業やサービス等で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑧の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「1. はい」「2. いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地区で実施されていないものもあります。

・A 知っているサービス

「はい」の率をみると、「⑤ 放課後児童健全育成事業」(94.4%)、「④ 病児・病後児保育事業」(59.6%)などが高率となっている。

(%)	はい	いいえ	無回答	n
① 養育支援訪問事業	12.9	81.3	5.8	342
② 子育て短期支援事業	16.1	78.4	5.6	342
③ 子育て援助活動支援事業	27.8	66.4	5.8	342
④ 病児・病後児保育事業	59.6	35.1	5.3	342
⑤ 放課後児童健全育成事業	94.4			342
⑥ 実費徴収にかかる補足給付を行う事業	14.0	80.1	5.8	342
⑦ 子育て世代包括支援センター事業	30.4	63.5	6.1	342
⑧ 子ども家庭総合支援事業	10.8	83.3	5.8	342

・B これまで利用したことがあるサービス

「はい」の率をみると、「⑤ 放課後児童健全育成事業」(79.8%)が高率となっている。

(%)	はい	いいえ	無回答	n
① 養育支援訪問事業		83.3	15.5	342
② 子育て短期支援事業	1.2	83.3	16.1	342
③ 子育て援助活動支援事業	0.6	81.0	16.1	342
④ 病児・病後児保育事業	2.9	80.1	15.5	342
⑤ 放課後児童健全育成事業	4.4	79.8	10.5	342
⑥ 実費徴収にかかる補足給付を行う事業	5.6	78.9	15.5	342
⑦ 子育て世代包括支援センター事業	5.8	78.4	15.8	342
⑧ 子ども家庭総合支援事業	1.2	83.3	15.5	342

・C 今後利用したいサービス

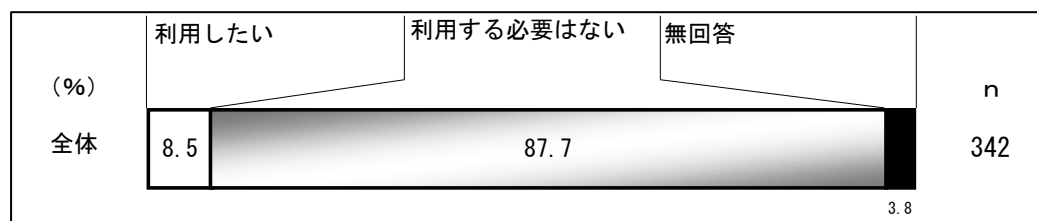
「はい」の率をみると、「⑤ 放課後児童健全育成事業」(48.5%)、「④ 病児・病後児保育事業」(22.8%)、「⑥ 実費徴収にかかる補足給付を行う事業」(21.6%)などが高率となっている。

(%)	はい	いいえ	無回答	n
① 養育支援訪問事業	5.0	81.0	14.0	342
② 子育て短期支援事業	5.8	79.5	14.6	342
③ 子育て援助活動支援事業	10.2	75.4	14.3	342
④ 病児・病後児保育事業	22.8	63.5	13.7	342
⑤ 放課後児童健全育成事業	48.5	38.9	12.6	342
⑥ 実費徴収にかかる補足給付を行う事業	21.6	64.3	14.0	342
⑦ 子育て世代包括支援センター事業	13.2	72.5	14.3	342
⑧ 子ども家庭総合支援事業	14.0	71.6	14.3	342

5. 宿泊を伴う預け先の状況について

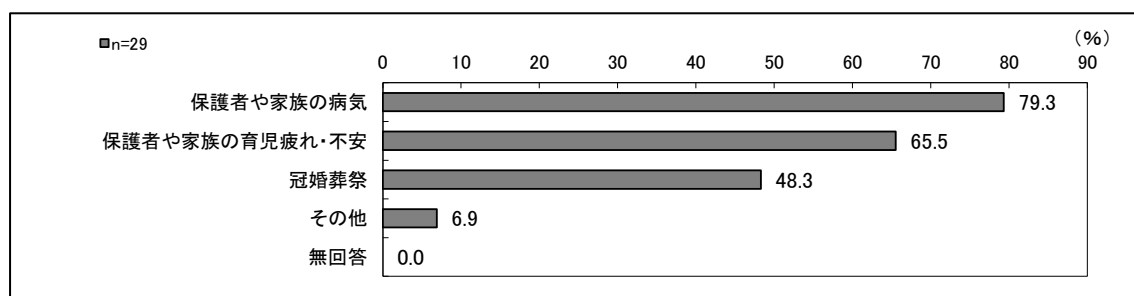
問8 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで預けることができるサービス「短期入所生活援助事業（ショートステイ）：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業」を利用したいと思いますか。（1つに○）

「利用する必要はない」が87.7%、一方、「利用したい」が8.5%となっている。



・問8-1 問8で「1. 利用したい」に○をつけた方に伺います。年間で、何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。希望の利用目的としてあてはまるものすべてに○をつけ、それぞれについて1年間で利用したい日数を口内に数字でご記入ください。

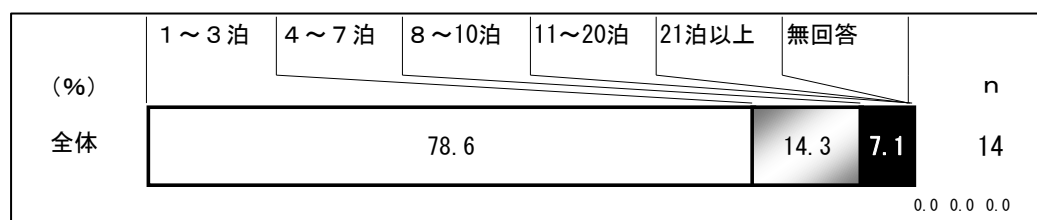
利用したい理由は、「保護者や家族の病気」(79.3%)が第1位、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」(65.5%)、「冠婚葬祭」(48.3%)となっている。



日数については以下のとおりとなっている。

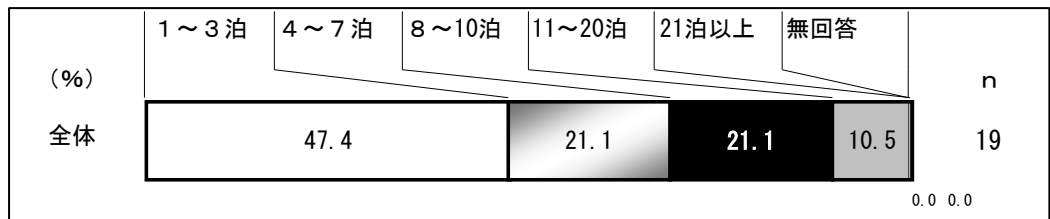
問8-1 日数:1 冠婚葬祭

「1～3泊」(78.6%)が最も多く、以下、「4～7泊」(14.3%)、「8～10泊」(7.1%)となっている。



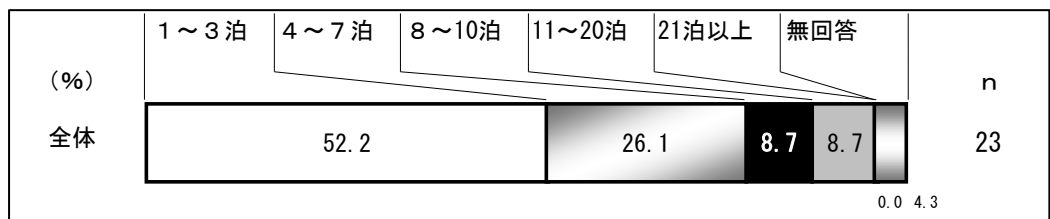
問 8-1 日数:2 保護者や家族の育児疲れ・不安

「1～3泊」(47.4%)が最も多く、以下、「4～7泊」・「8～10泊」(同率21.1%)、「11～20泊」(10.5%)となっている。



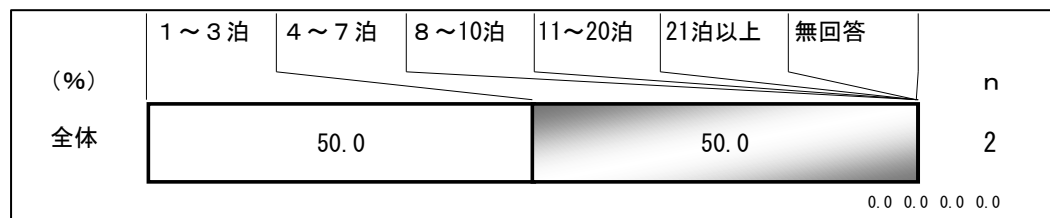
問 8-1 日数:3 保護者や家族の病気

「1～3泊」(52.2%)が最も多く、以下、「4～7泊」(26.1%)、「8～10泊」・「11～20泊」(同率8.7%)となっている。



問 8-1 日数:4 その他

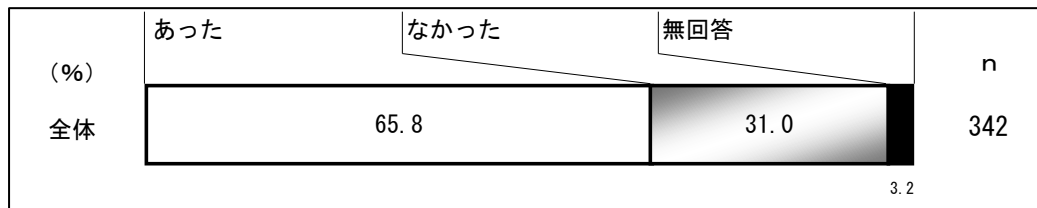
「1～3泊」・「4～7泊」(同率50.0%)となっている。



6. 病気の際の対応について

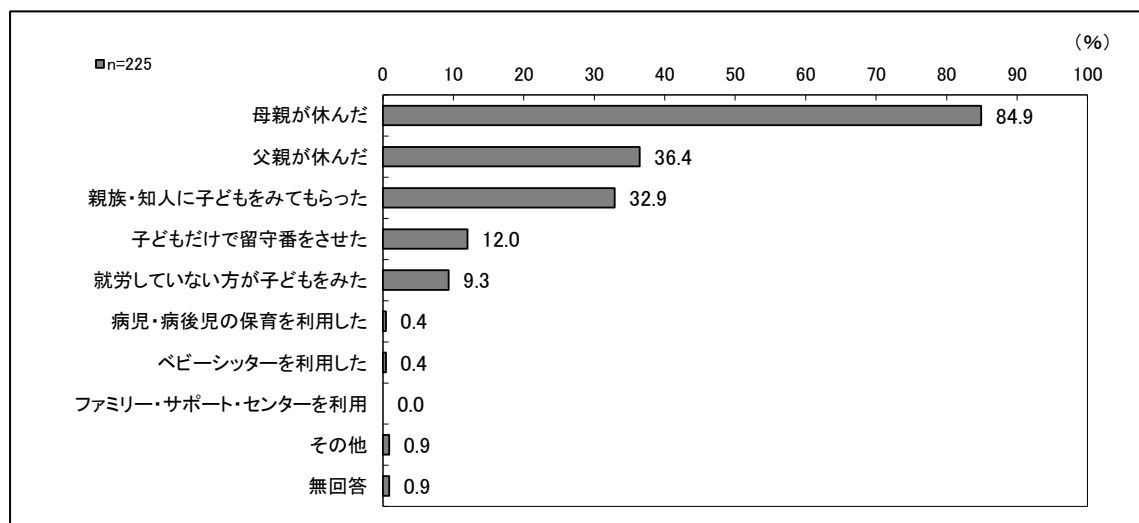
問9 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。(1つに○)

「あった」が65.8%、一方、「なかった」が31.0%となっている。



問9-1 問9で「1. あった」と回答した方に伺います。宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだ際に、この1年間に行った対処方法としてあてはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)

「母親が休んだ」(84.9%)が最も多く、以下、「父親が休んだ」(36.4%)、「親族・知人に子どもをみてもらった」(32.9%)、「子どもだけで留守番をさせた」(12.0%)、「就労していない方が子どもをみた」(9.3%)、「病児・病後児の保育を利用した」・「ベビーシッターを利用した」(同率0.4%)となっている。

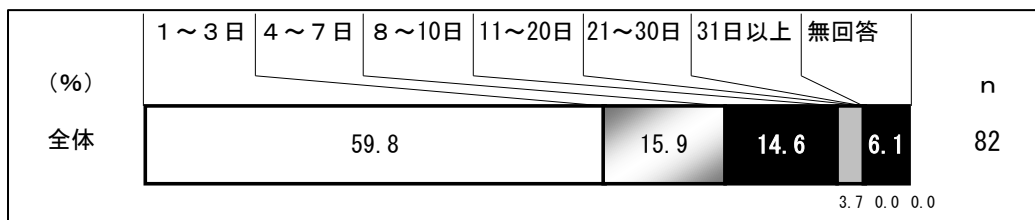


IV 小学生の調査結果

日数については以下のとおりとなっている。

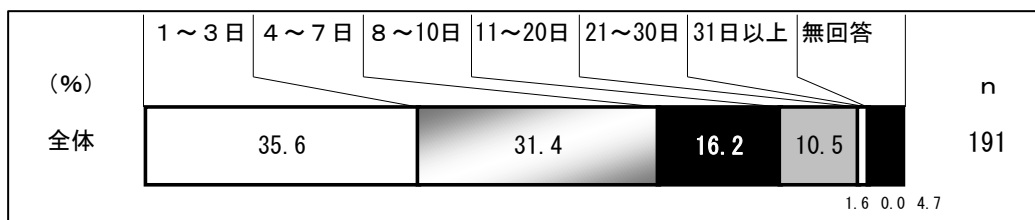
問 9-1 日数:1 父親が休んだ

「1～3日」(59.8%) が最も多く、以下、「4～7日」(15.9%)、「8～10日」(14.6%)、「11～20日」(3.7%) となっている。



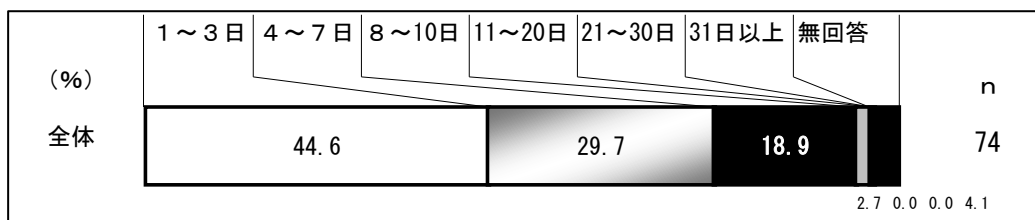
問 9-1 日数:2 母親が休んだ

「1～3日」(35.6%) が最も多く、以下、「4～7日」(31.4%)、「8～10日」(16.2%)、「11～20日」(10.5%)、「21～30日」(1.6%) となっている。



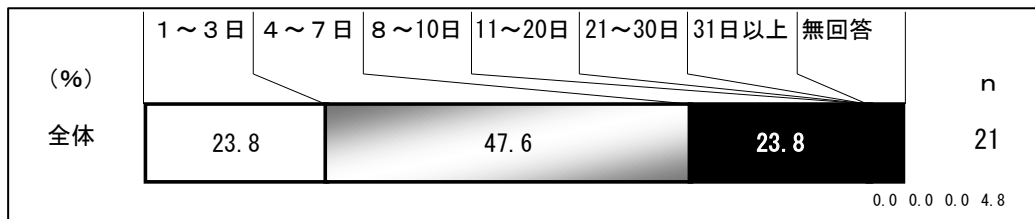
問 9-1 日数:3 親族・知人に子どもをみてもらった

「1～3日」(44.6%) が最も多く、以下、「4～7日」(29.7%)、「8～10日」(18.9%)、「11～20日」(2.7%) となっている。



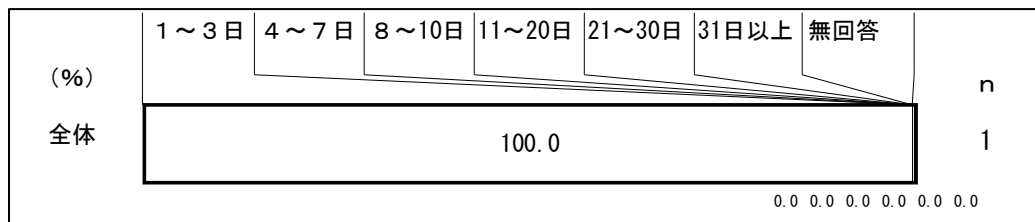
問 9-1 日数:4 就労していない方が子どもをみた

「4～7日」(47.6%) が最も多く、以下、「1～3日」・「8～10日」(同率 23.8%) となっている。



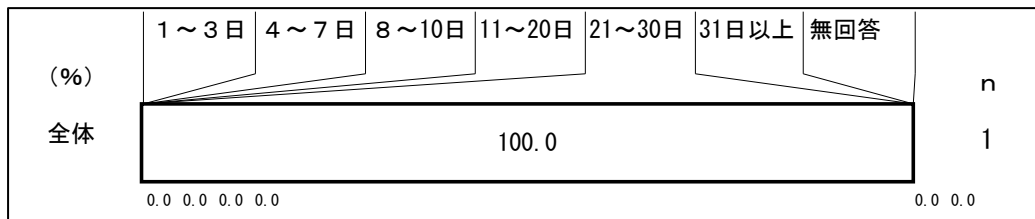
問 9-1 日数:5 病児・病後児の保育を利用した

「1～3日」(100.0%) となっている。



問 9-1 日数:6 ベビーシッターを利用した

「21～30日」(100.0%) となっている。

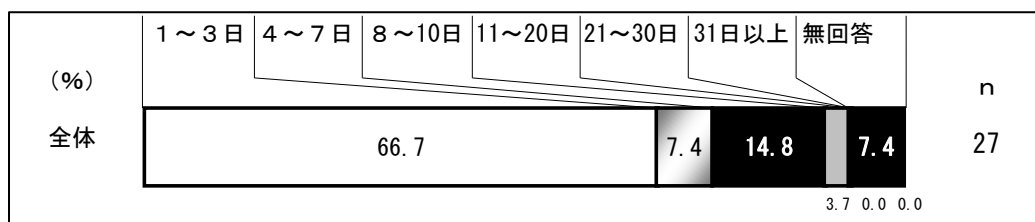


問 9-1 日数:7 ファミリー・サポート・センターを利用した

※該当なし

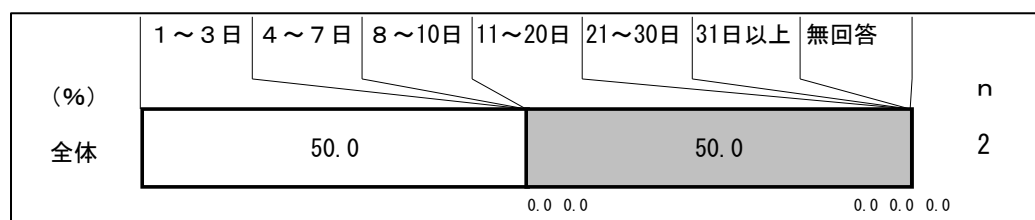
問 9-1 日数:8 子どもだけで留守番をさせた

「1～3日」(66.7%) が最も多く、以下、「8～10日」(14.8%)、「4～7日」(7.4%)、「11～20日」(3.7%) となっている。



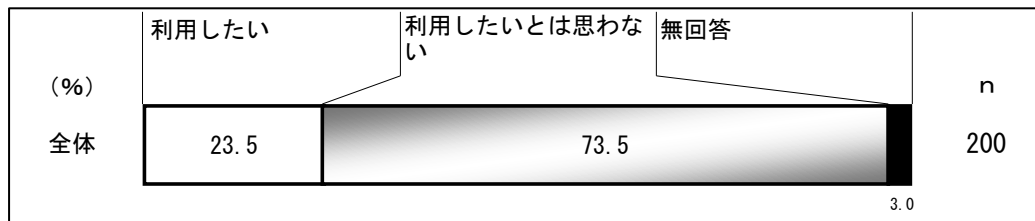
問 9-1 日数:9 その他

「1～3日」・「11～20日」(同率 50.0%) となっている。



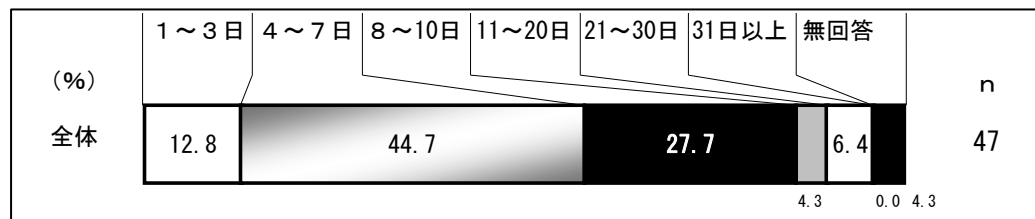
問 9-2 問 9-1 で「1」または「2」のいずれかに○を付けた方に伺います。その際、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまるもの1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。

「利用したいとは思わない」が73.5%、一方、「利用したい」が23.5%となっている。



問 9-2-1 利用したい日数/年: 病児・病後児保育

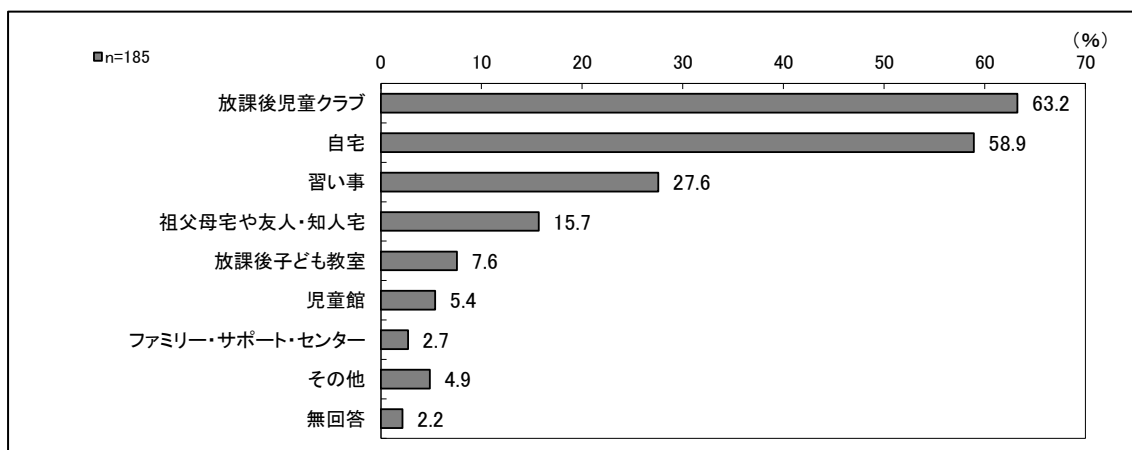
「4～7日」(44.7%) が最も多く、以下、「8～10日」(27.7%)、「1～3日」(12.8%)、「21～30日」(6.4%)、「11～20日」(4.3%) となっている。



7. 放課後の過ごし方について

問 10 問 10 は、宛名のお子さんが現在小学校 1～3 年生の方に伺います。宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3 年生）の間、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか（過ごさせたいと思いますか）。あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ週当たりの利用（希望）日数を口内に数字でご記入ください。

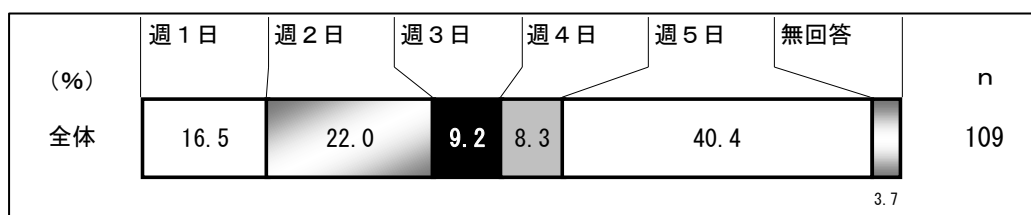
放課後の時間を過ごしている場所は、「放課後児童クラブ」（63.2%）が第 1 位、次いで、「自宅」（58.9%）、「習い事」（27.6%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（15.7%）、「放課後子ども教室」（7.6%）、「児童館」（5.4%）、「ファミリー・サポート・センター」（2.7%）となっている。



低学年のうちに放課後の時間を過ごさせたい場所ごとの希望の日数は、下記のとおりである。

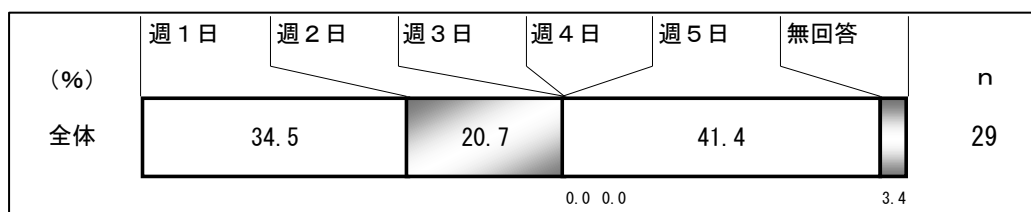
問 10 希望日数:1 自宅

「週 5 日」（40.4%）が最も多く、以下、「週 2 日」（22.0%）、「週 1 日」（16.5%）、「週 3 日」（9.2%）、「週 4 日」（8.3%）となっている。



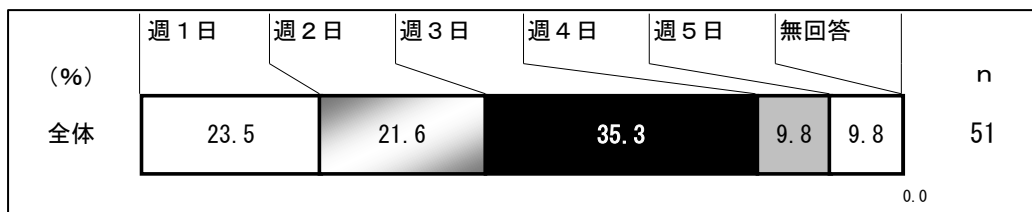
問 10 希望日数:2 祖父母宅や友人・知人宅

「週 5 日」（41.4%）が最も多く、以下、「週 1 日」（34.5%）、「週 2 日」（20.7%）となっている。



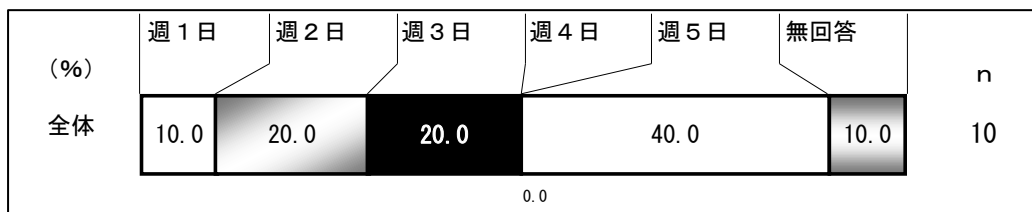
問 10 希望日数:3 習い事

「週 3 日」(35.3%) が最も多く、以下、「週 1 日」(23.5%)、「週 2 日」(21.6%)、「週 4 日」・「週 5 日」(同率 9.8%) となっている。



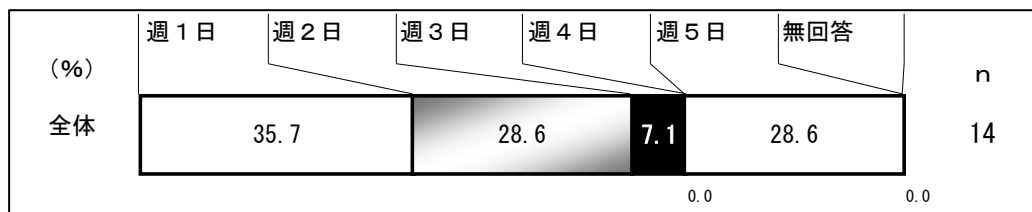
問 10 希望日数:4 児童館

「週 5 日」(40.0%) が最も多く、以下、「週 2 日」・「週 3 日」(同率 20.0%)、「週 1 日」(10.0%) となっている。



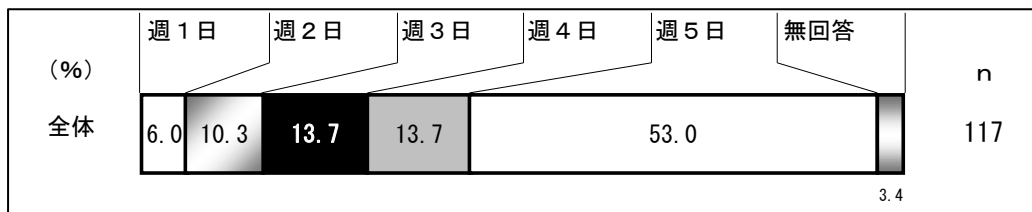
問 10 希望日数:5 放課後子ども教室

「週 1 日」(35.7%) が最も多く、以下、「週 2 日」・「週 5 日」(同率 28.6%)、「週 3 日」(7.1%) となっている。



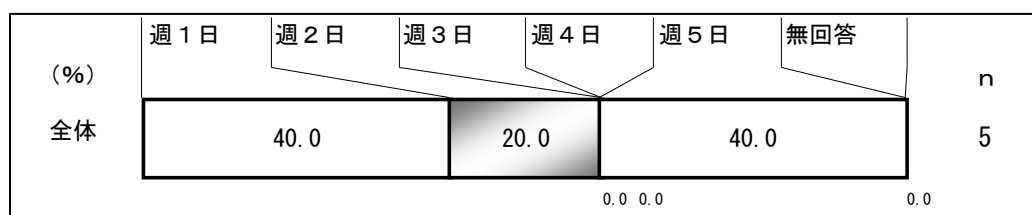
問 10 希望日数:6 放課後児童クラブ

「週 5 日」(53.0%) が最も多く、以下、「週 3 日」・「週 4 日」(同率 13.7%)、「週 2 日」(10.3%)、「週 1 日」(6.0%) となっている。



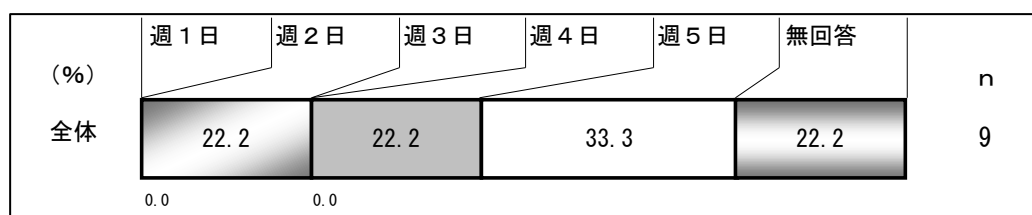
問10 希望日数:7 ファミリー・サポート・センター

「週1日」・「週5日」(同率40.0%)が最も多く、以下、「週2日」(20.0%)となっている。



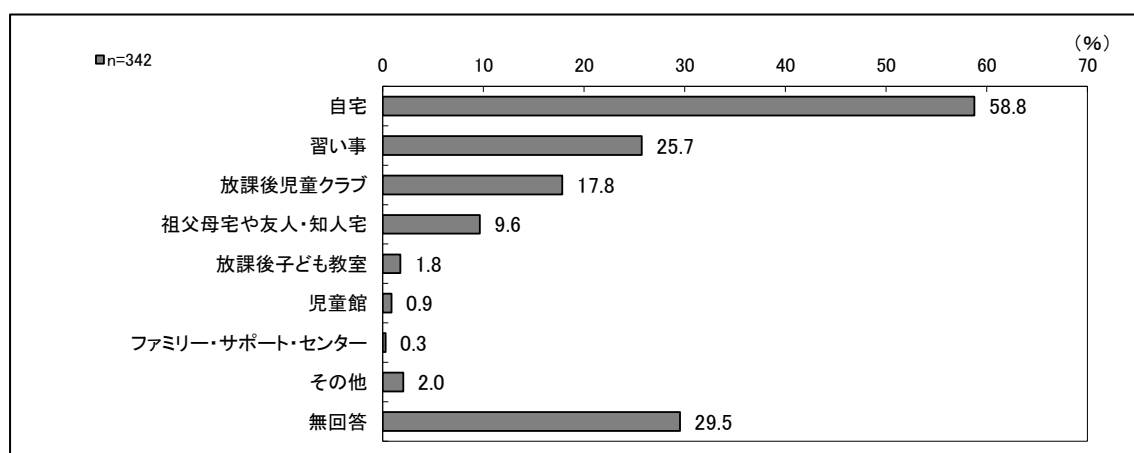
問10 希望日数:8 その他

「週5日」(33.3%)が最も多く、以下、「週1日」・「週2日」・「週4日」(同率22.2%)となっている。



問11 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4~6年生)の間、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか(過ごさせたいと思いますか)。あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ週当たりの利用(希望)日数を口内に数字でご記入ください。

放課後の時間を過ごしている場所は、「自宅」(58.8%)が第1位、次いで、「習い事」(25.7%)、「放課後児童クラブ」(17.8%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(9.6%)、「放課後子ども教室」(1.8%)、「児童館」(0.9%)、「ファミリー・サポート・センター」(0.3%)となっている。

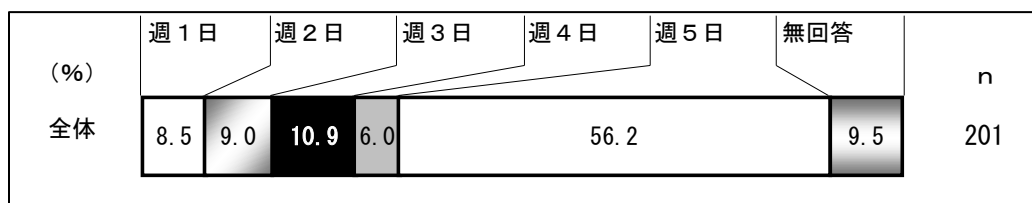


IV 小学生の調査結果

高学年のうちに放課後の時間を過ごさせたい場所ごとの希望の日数は、下記のとおりである。

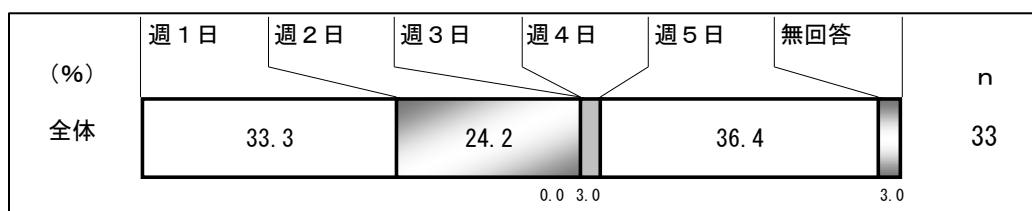
問 11 希望日数:1 自宅

「週 5 日」(56.2%) が最も多く、以下、「週 3 日」(10.9%)、「週 2 日」(9.0%)、「週 1 日」(8.5%)、「週 4 日」(6.0%) となっている。



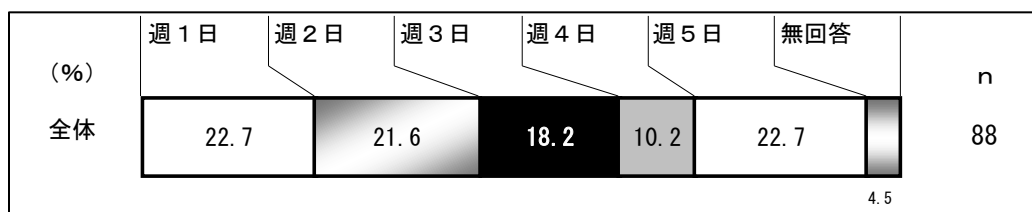
問 11 希望日数:2 祖父母宅や友人・知人宅

「週 5 日」(36.4%) が最も多く、以下、「週 1 日」(33.3%)、「週 2 日」(24.2%)、「週 4 日」(3.0%) となっている。



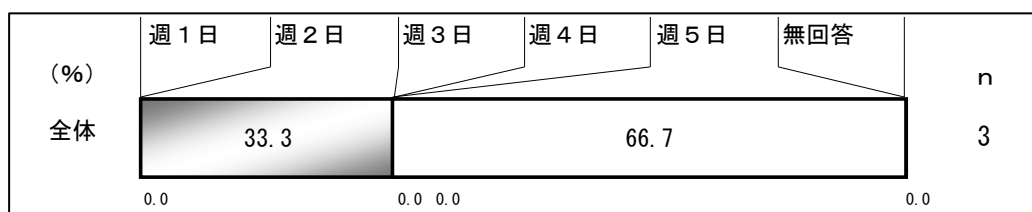
問 11 希望日数:3 習い事

「週 1 日」・「週 5 日」(同率 22.7%) が最も多く、以下、「週 2 日」(21.6%)、「週 3 日」(18.2%)、「週 4 日」(10.2%) となっている。



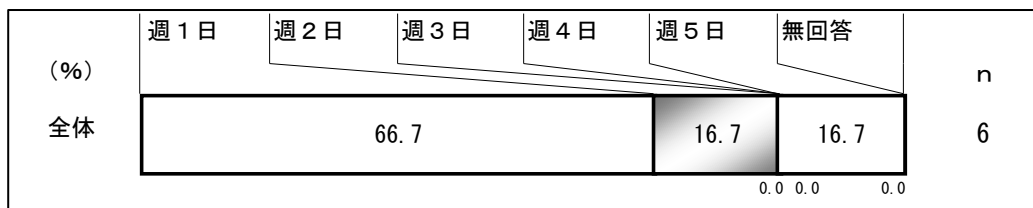
問 11 希望日数:4 児童館

「週 5 日」(66.7%) が最も多く、以下、「週 2 日」(33.3%) となっている。



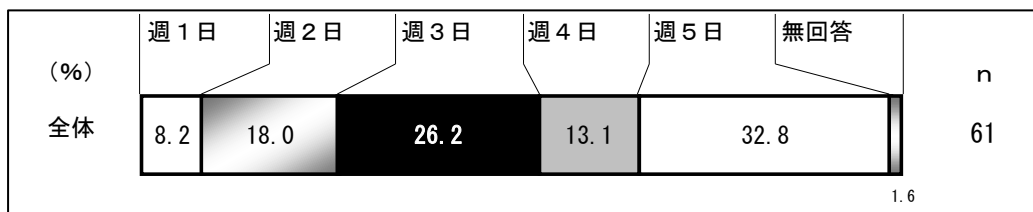
問 11 希望日数:5 放課後子ども教室

「週1日」(66.7%)が最も多く、以下、「週2日」・「週5日」(同率16.7%)となっている。



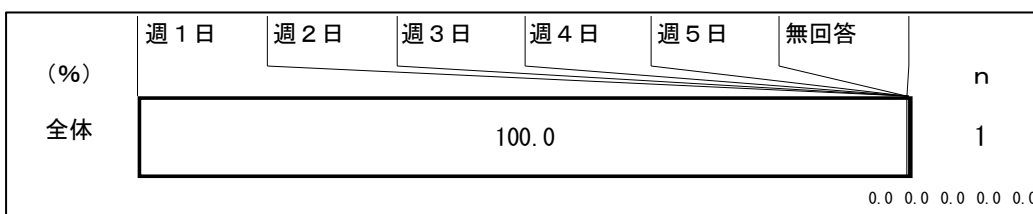
問 11 希望日数:6 放課後児童クラブ

「週5日」(32.8%)が最も多く、以下、「週3日」(26.2%)、「週2日」(18.0%)、「週4日」(13.1%)、「週1日」(8.2%)となっている。



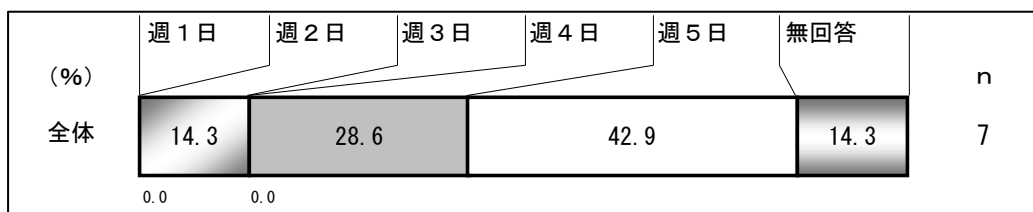
問 11 希望日数:7 ファミリー・サポート・センター

「週1日」(100.0%)となっている。



問 11 希望日数:8 その他

「週5日」(42.9%)が最も多く、以下、「週4日」(28.6%)、「週2日」(14.3%)となっている。

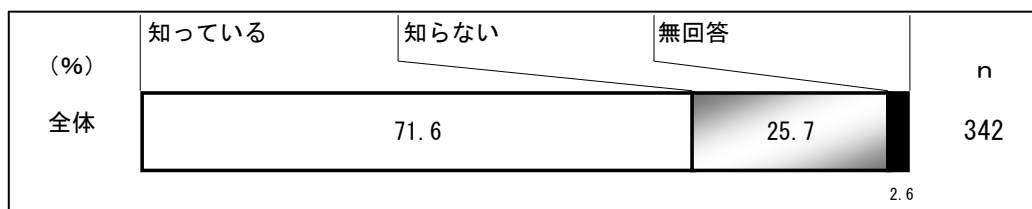


8. 児童虐待について

問 12 児童虐待について次のことを知っていますか。次の①～③のそれぞれについて「1. はい」「2. いいえ」のいずれかに○をつけてください。

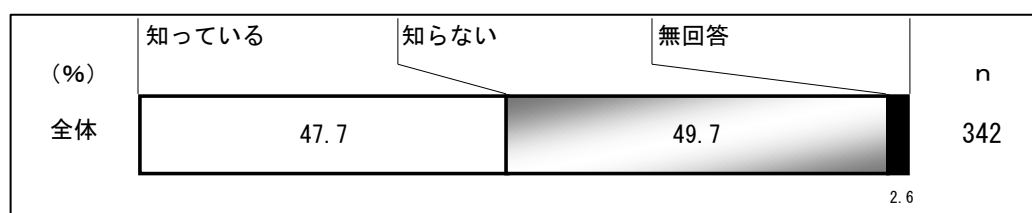
① 「児童虐待の防止等に関する法律」（児童虐待防止法）を知っていますか

「知っている」が71.6%、一方、「知らない」が25.7%となっている。



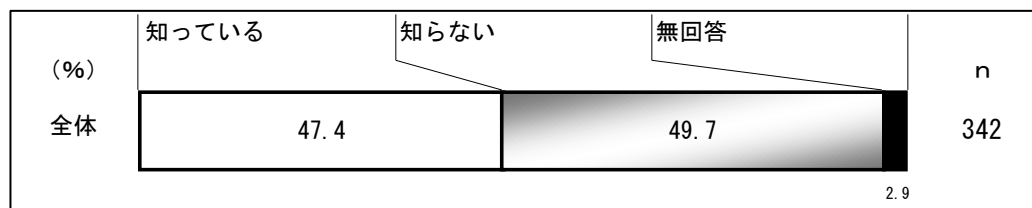
② 児童虐待を発見した場合の通報先を知っていますか

「知らない」が49.7%、一方、「知っている」が47.7%となっている。



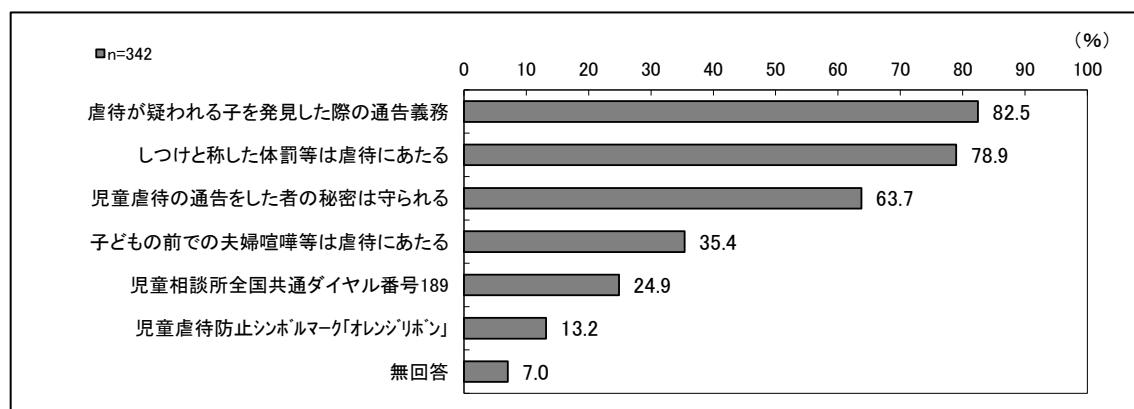
③ ご家庭で虐待の心配があったら相談できる機関を知っていますか

「知らない」が49.7%、一方、「知っている」が47.4%となっている。



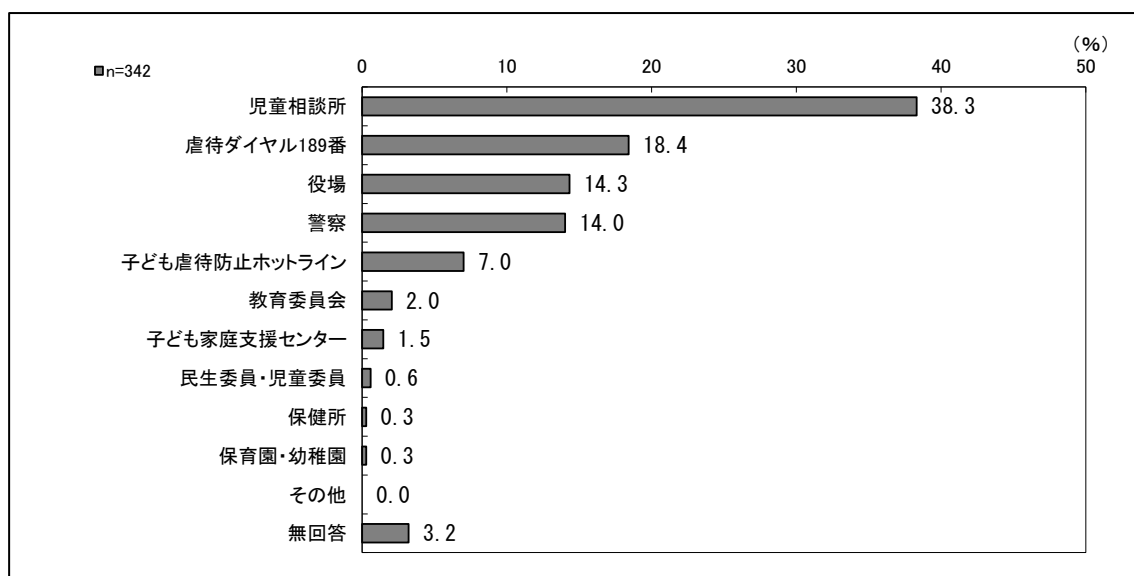
問 13 児童虐待について次のことを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

児童虐待について知っていることは、「虐待が疑われる子を発見した際の通告義務」(82.5%)が第1位、次いで、「しつけと称した体罰等は虐待にあたる」(78.9%)、「児童虐待の通告をした者の秘密は守られる」(63.7%)、「子どもの前での夫婦喧嘩等は虐待にあたる」(35.4%)、「児童相談所全国共通ダイヤル番号189」(24.9%)、「児童虐待防止シンボルマーク「オレンジリボン」」(13.2%)となっている。



問 14 児童虐待を発見した場合には、次の選択欄のどちらにも通告や通報等ができます。その中でも、あなたはどちらに連絡しようと思いますか。(1つに○)

児童虐待を発見した場合の通報・通告先は、「児童相談所」(38.3%)が第1位、次いで、「虐待ダイヤル189番」(18.4%)、「役場」(14.3%)、「警察」(14.0%)、「子ども虐待防止ホットライン」(7.0%)、「教育委員会」(2.0%)、「子ども家庭支援センター」(1.5%)、「民生委員・児童委員」(0.6%)、「保健所」・「保育園・幼稚園」(同率0.3%)となっている。

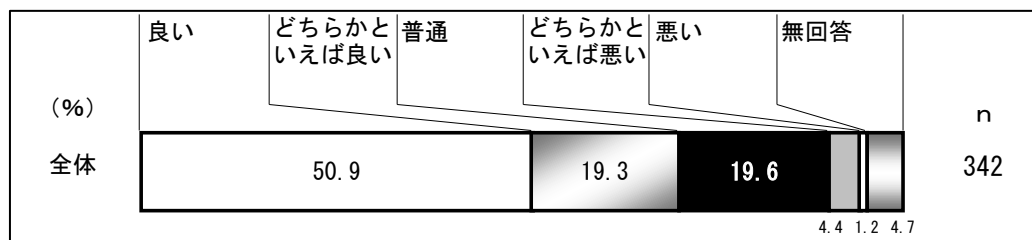


9. 健康状況について

問 15 あなたとお子さんの健康状態について伺います。最も近いもの1つに○をつけてください。（それぞれ1つに○）

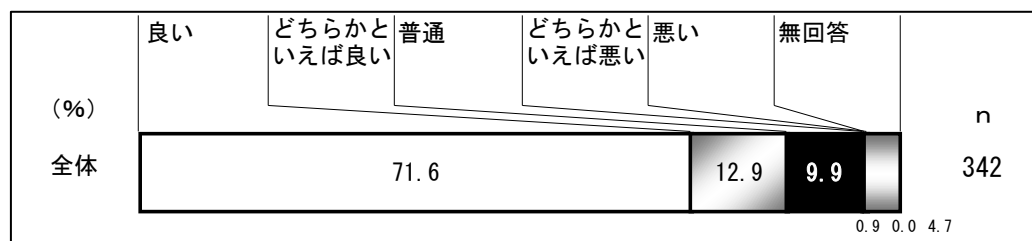
A 回答者の健康状態

「良い」(50.9%)、「普通」(19.6%)、「どちらかといえば良い」(19.3%)、「どちらかといえば悪い」(4.4%)、「悪い」(1.2%)となっている。



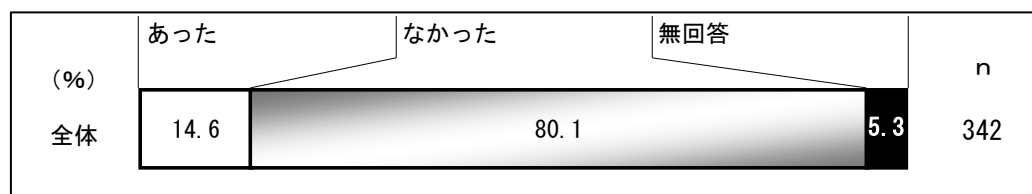
B 子どもの健康状態

「良い」(71.6%)、「どちらかといえば良い」(12.9%)、「普通」(9.9%)、「どちらかといえば悪い」(0.9%)となっている。



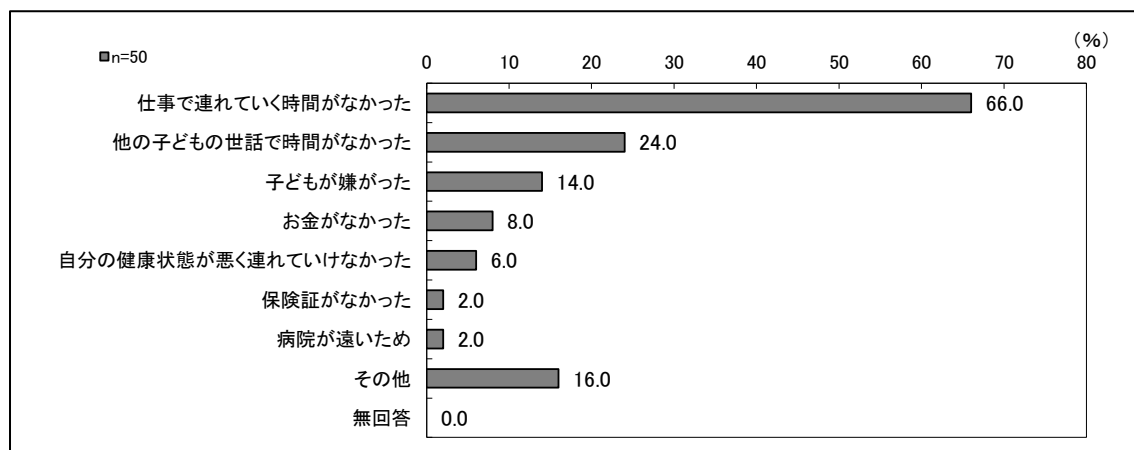
問 16 過去1年間に、お子さん(きょうだいを含む)を病院や歯医者で受診させた方が良かったが、実際には受診させなかったことがありますか。(1つに○)

「なかった」が80.1%、一方、「あった」が14.6%となっている。



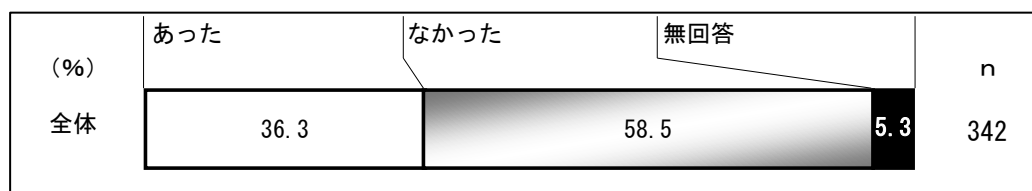
問 16-1 問 16 で「1. あった」と回答した方に伺います。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

受診させなかった理由については、「仕事で連れていく時間がなかった」(66.0%)が第1位、次いで、「他の子どもの世話で時間がなかった」(24.0%)、「子どもが嫌がった」(14.0%)、「お金がなかった」(8.0%)、「自分の健康状態が悪く連れていけなかった」(6.0%)、「保険証がなかった」・「病院が遠いため」(同率 2.0%)となっている。



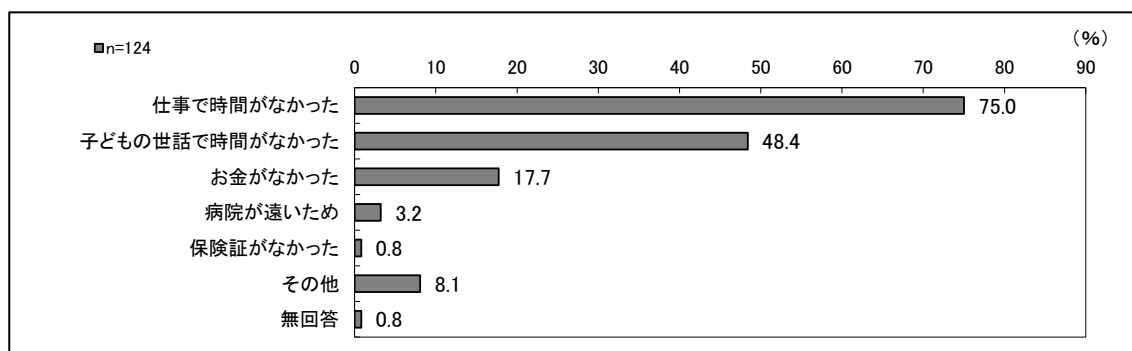
問 17 過去 1 年間に、あなたが病院や歯医者を受診したいのに受診できなかったことがありますか。(1 つに○)

「なかった」が 58.5%、一方、「あった」が 36.3%となっている。



問 17-1 問 17 で「1. あった」と回答した方に伺います。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

受診できなかった理由については、「仕事で時間がなかった」(75.0%)が第1位、次いで、「子どもの世話で時間がなかった」(48.4%)、「お金がなかった」(17.7%)、「病院が遠いため」(3.2%)、「保険証がなかった」(0.8%)となっている。

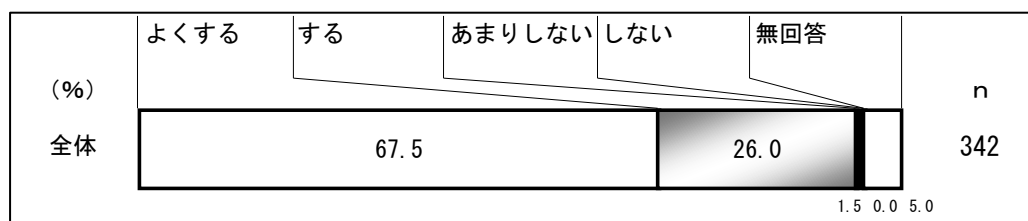


10. 子どもとの関係について

問 18 あなたとお子さんの関係について、最も近いもの1つに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

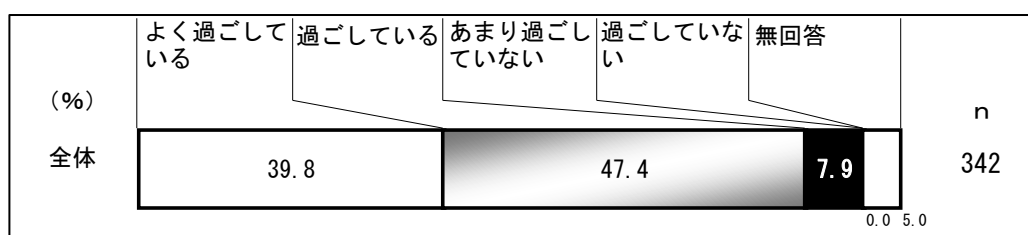
A よく会話をする

「よくする」(67.5%)、「する」(26.0%)、「あまりしない」(1.5%)となっている。



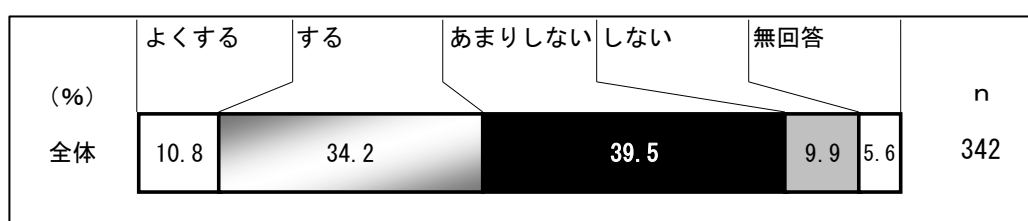
B 十分時間を過ごす

「過ごしている」(47.4%)、「よく過ごしている」(39.8%)、「あまり過ごしていない」(7.9%)となっている。



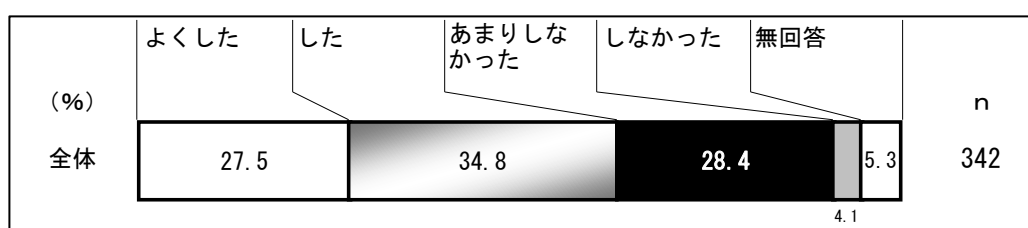
C 本の感想を話し合う

「あまりしない」(39.5%)、「する」(34.2%)、「よくする」(10.8%)、「しない」(9.9%)となっている。



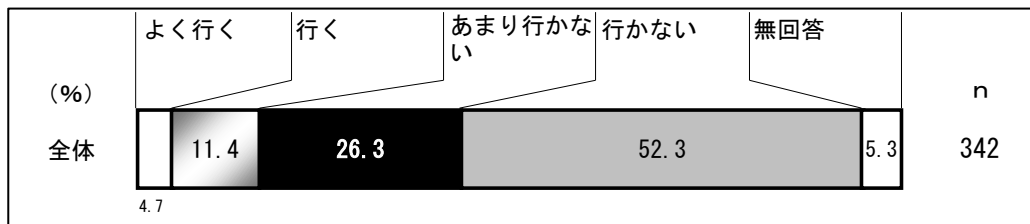
D 小さいころ絵本の読み聞かせ

「した」(34.8%)、「あまりしなかった」(28.4%)、「よくした」(27.5%)、「しなかった」(4.1%)となっている。



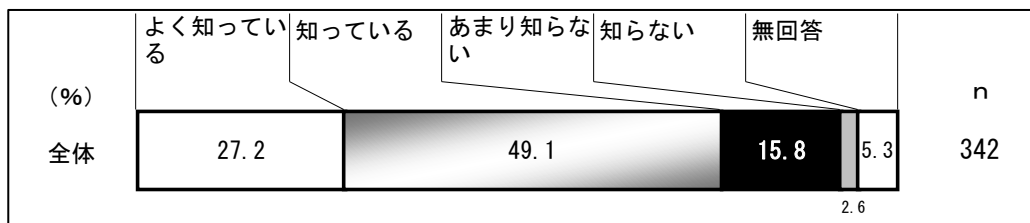
E 一緒に図書館に行く

「行かない」(52.3%)、「あまり行かない」(26.3%)、「行く」(11.4%)、「よく行く」(4.7%)
となっている。



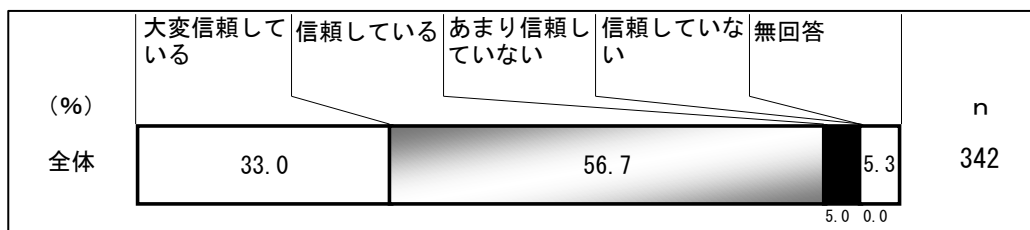
F 将来の夢を知っている

「知っている」(49.1%)、「よく知っている」(27.2%)、「あまり知らない」(15.8%)、「知らない」(2.6%)
となっている。



G 子どもを信頼している

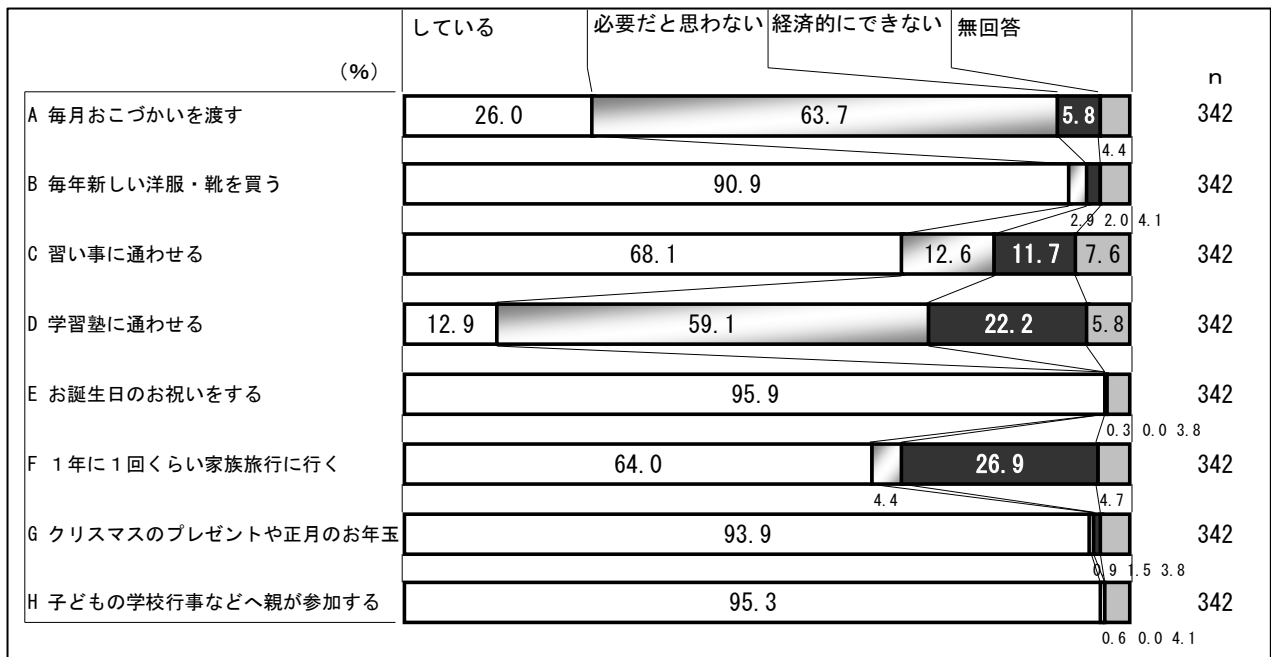
「信頼している」(56.7%)、「大変信頼している」(33.0%)、「あまり信頼していない」(5.0%)
となっている。



問 19 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Hについて、あてはまるものに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

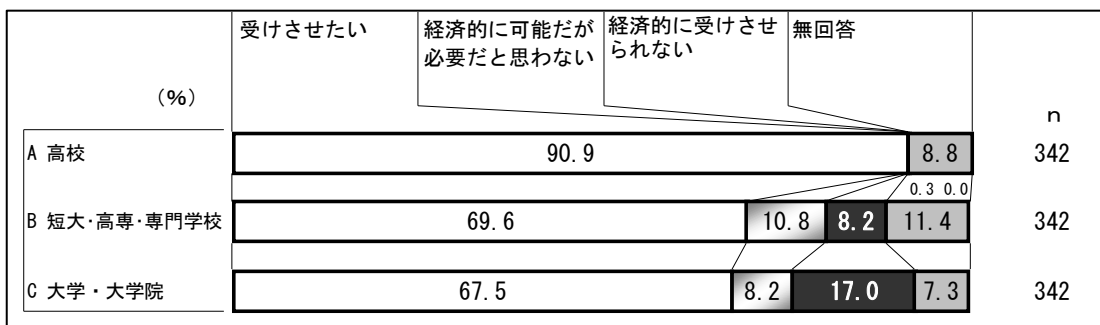
「している」の率をみると、「E お誕生日のお祝いをする」(95.9%)、「H 子どもの学校行事などへ親が参加する」(95.3%)、「G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉」(93.9%)、「B 毎年新しい洋服・靴を買う」(90.9%)などが高率となっている。

また、「必要だと思わない」の率をみると、「A 毎月のおこづかいを渡す」(63.7%)、「D 学習塾に通わせる」(59.1%)などが高率となっている。



問 20 あなたのご家庭では、お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいですか。A～Cについて、あてはまるものに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

「受けさせたい」の率をみると、「A 高校」(90.9%)、「B 短大・高専・専門学校」(69.6%)、「C 大学・大学院」(67.5%)となっている。

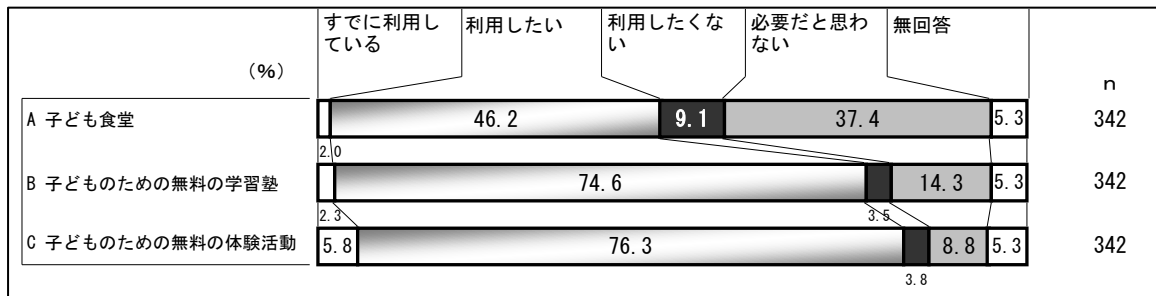


11. 子どもへの支援について

問 21 次のうち、利用したいと思うものについて、あてはまるものに○をつけてください。

(それぞれ1つに○) ※「子ども食堂」とは、地域の子どもたちが気軽に利用でき、食事をしながら交流する場所のことを言います。

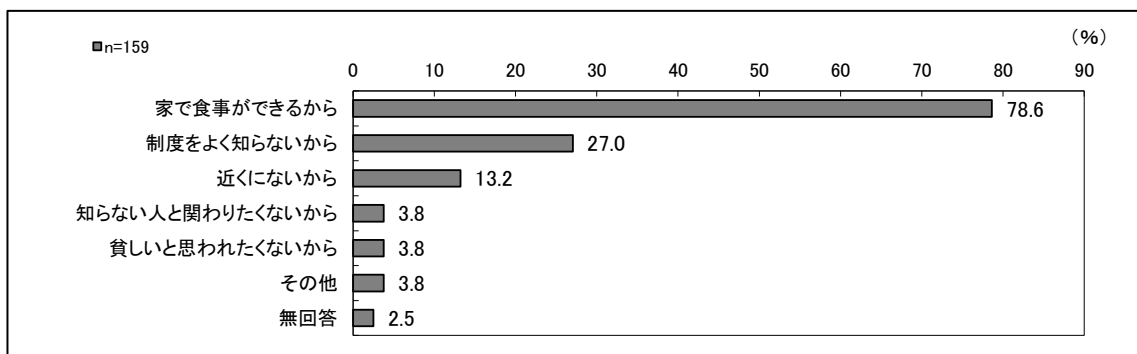
「利用したい」の率をみると、「A 子ども食堂」(46.2%)、「B 子どものための無料の学習塾」(74.6%)、「C 子どものための無料の体験活動」(76.3%)となっている。



問 21-1 問 21-1 は問 21 で「3. 利用したくない」、「4. 必要だと思わない」と回答した方に伺います。その理由としてあてはまるものすべてに○をつけてください。

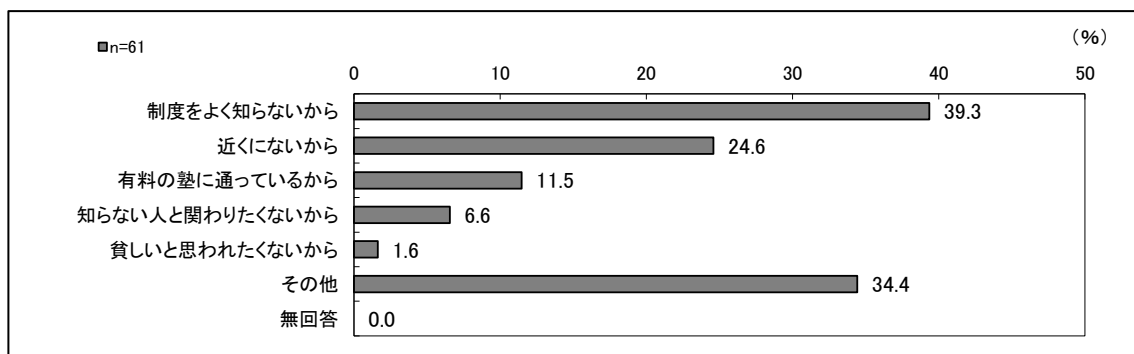
問 21-1 利用しない理由 A 子ども食堂

「家で食事ができるから」(78.6%)が第1位、次いで、「制度をよく知らないから」(27.0%)、「近くにないから」(13.2%)、「知らない人と関わりたくないから」・「貧しいと思われたくないから」(同率3.8%)となっている。



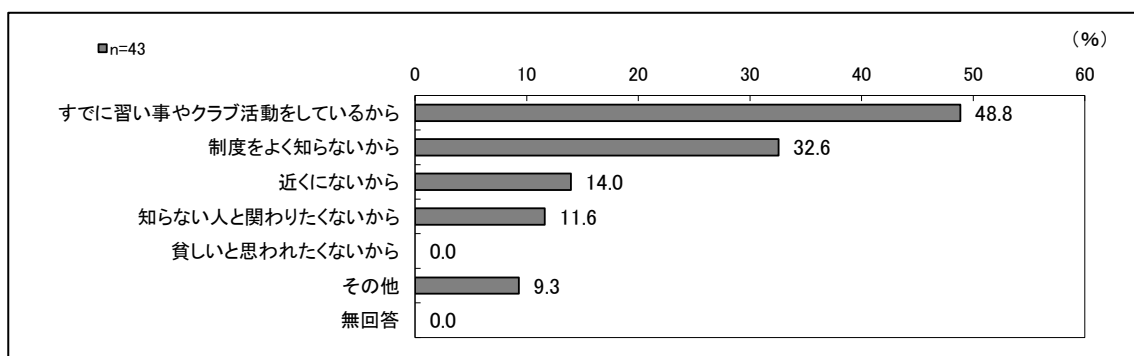
問 21-1 利用しない理由 B 子どものための無料の学習塾

具体的には、「制度をよく知らないから」(39.3%)が第1位、次いで、「近くにないから」(24.6%)、「有料の塾に通っているから」(11.5%)、「知らない人と関わりたくないから」(6.6%)、「貧しいと思われたくないから」(1.6%)となっている。



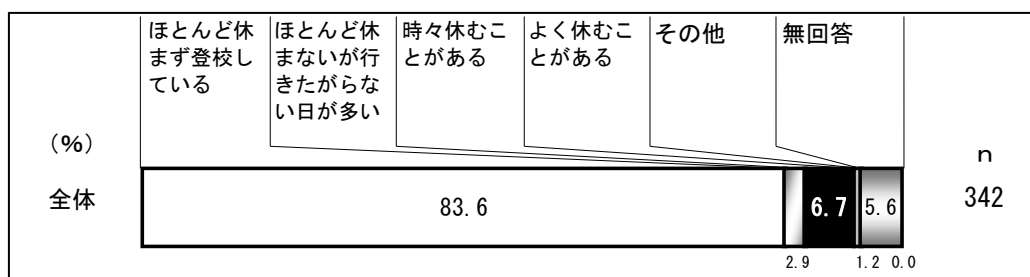
問 21-1 利用しない理由 C 子どものための無料の体験活動

「すでに習い事やクラブ活動をしているから」(48.8%)が第1位、次いで、「制度をよく知らないから」(32.6%)、「近くにないから」(14.0%)、「知らない人と関わりたくないから」(11.6%)となっている。



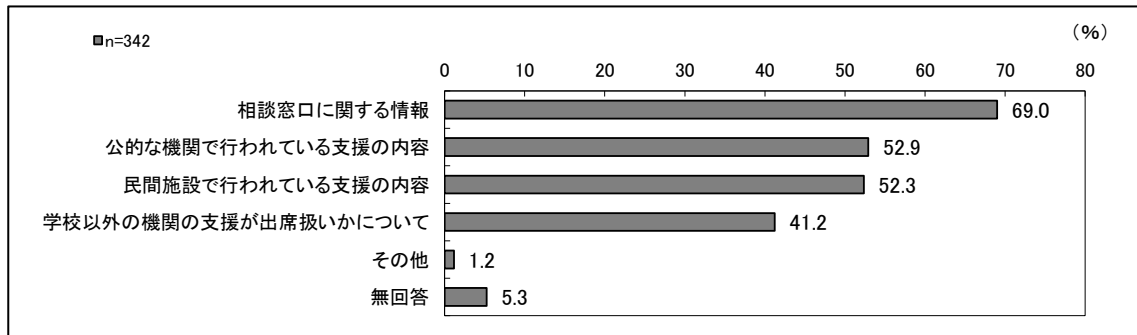
問 22 お子さんの登校のようすはいかがですか。(1つに○)

「ほとんど休まず登校している」(83.6%)が最も多く、以下、「時々休むことがある」(6.7%)、「ほとんど休まないが行きたがらない日が多い」(2.9%)、「よく休むことがある」(1.2%)となっている。



問 23 お子さまが学校に通えない傾向が見え始めた場合又は学校の教室に通えなくなった場合、お子さまの学び方・過ごし方を考える上で、必要だと思う情報は何か。(あてはまるものすべてに○)

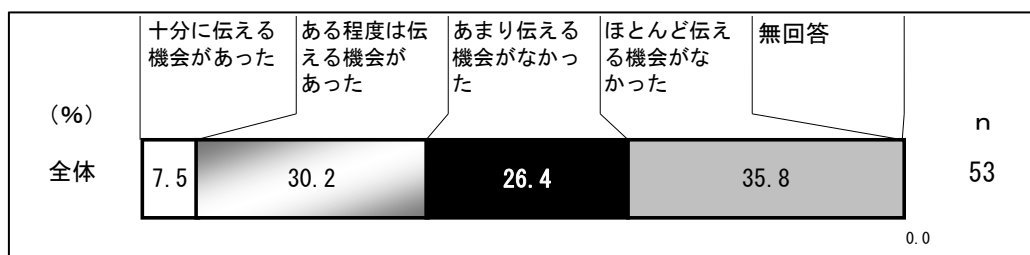
「相談窓口に関する情報」(69.0%)が第1位、次いで、「公的な機関で行われている支援の内容」(52.9%)、「民間施設で行われている支援の内容」(52.3%)、「学校以外の機関の支援が出席扱いについて」(41.2%)となっている。



【学校に通えない傾向が見え始めた又は学校の教室に通えなくなったお子さまがいる方に伺います。】

問 24 学校・教育委員会や民間施設等に対して、どこでどのような学び方・過ごし方をしたいかといった、お子さまや保護者の方の要望を伝える機会がありましたか。(1つに○)

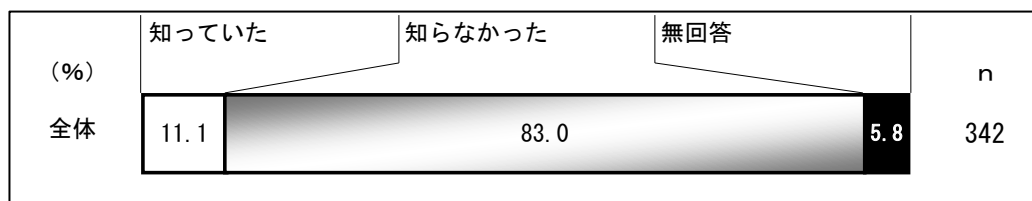
「ほとんど伝える機会がなかった」(35.8%)が最も多く、以下、「ある程度は伝える機会があった」(30.2%)、「あまり伝える機会がなかった」(26.4%)、「十分に伝える機会があった」(7.5%)となっている。



12. 不登校児童生徒の支援に対する国の方針について

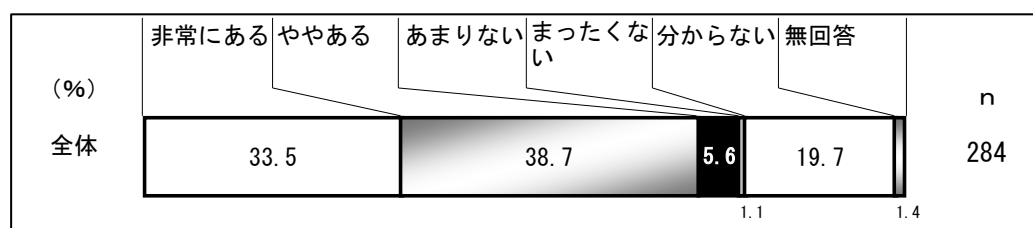
問 25 国は学校に通えていないお子さまへの支援に際して、「登校という結果のみを目標にしない」という方針を出していますが、この方針について知っていましたか。(1つに○)

「知らなかった」が83.0%、一方、「知っていた」が11.1%となっている。



問 25-1 問 25-1 は、問 25 で「2. 知らなかった」と回答した方に伺います。お子さまが学校に通えなくなったとき、「支援に際しては、登校という結果のみを目標にしない」という方針を知っていれば、学校以外の支援先を選ぶ可能性はありますか。(1つに○)

「ややある」(38.7%)、「非常にある」(33.5%)、「分からない」(19.7%)、「あまりない」(5.6%)、「まったくない」(1.1%)となっている。



13. 子育てに関する相談窓口や制度の利用について

問 26 これまでに、次のような機関や相談員に、子育てや生活のことで相談をしたことがありますか。また、相談したことがない場合はその理由にもっとも近いものに○をつけてください。(①～⑤それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

「相談したことがある」の率をみると、「③ 保健師」(18.1%)、「① 役場」(12.6%)、「④ 教育委員会」(6.4%)、「② 児童相談所」(2.0%)、「⑤ 民生委員・児童委員」(1.2%)となっている。

(%)	相談したことがある	相談したことがない	無回答	n
① 役場	12.6	80.1	7.3	342
② 児童相談所	2.0	90.9	7.0	342
③ 保健師	18.1	75.4	6.4	342
④ 教育委員会	6.4	86.8	6.7	342
⑤ 民生委員・児童委員	1.2	91.5	7.3	342

・相談したことがない理由

「相談したことがない理由」の率をみると、どの相談先も「相談する必要がなかった」が高率となっている。

(%)	相談する必要がなかった	相談時間や場所などが使いづらかった	相談するのに抵抗感があった	相談先や方法を知らなかった	無回答	n
① 役場	80.3			7.7	9.1	274
② 児童相談所	83.6			6.4	8.4	311
③ 保健師	82.9			6.2	8.9	258
④ 教育委員会	83.5			6.1	9.4	297
⑤ 民生委員・児童委員	81.8			1.6	11.8	313

問 27 これまでに、次の制度を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合はその理由にもっとも近いものに○をつけてください。(①～⑤それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

「利用したことがある制度」の率をみると、「① 児童扶養手当」(39.8%)、「⑤ 就学援助」(12.3%)、「④ 母子父子寡婦福祉資金」(1.2%) などとなっている。

(%)	利用したことがある	利用したことがない	無回答	n
① 児童扶養手当	39.8	53.8	6.4	342
② 生活保護	0.0	93.3	6.7	342
③ 生活福祉資金	0.6	92.4	7.0	342
④ 母子父子寡婦福祉資金	1.2	91.8	7.0	342
⑤ 就学援助	12.3	80.7	7.0	342

・利用したことがない理由

「利用したことがない理由」の率をみると、どの制度も「利用する必要がなかった・制度の対象外」が高率となっている。

(%)	利用する必要がなかった・制度の対象外	利用したかったが条件を満たしていなかった	利用したかったが制度が使いづらかった	利用するのに抵抗があった	利用のしなかったがわからない	制度やサービスについて知らなかった	無回答	n
① 児童扶養手当	88.6						6.0	184
② 生活保護	93.4						2.7 0.0 0.0 2.7 0.0	319
③ 生活福祉資金	84.2						11.4	316
④ 母子父子寡婦福祉資金	86.3						9.9	314
⑤ 就学援助	87.3						6.5	276